

平成18年度

アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業  
実践事例集



平成19年3月

福岡県教育委員会

## は じ め に

今日の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、物質的な豊かさと便利さの中で、地域における人間的なつながりは希薄化し、子どもたちの基本的な生活習慣の定着等が大きな課題となっています。

県教育委員会といたしましては、家庭教育支援を充実するために、本年度「アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業」を実施し、家庭の教育力の向上を図る実践活動を推進しています。また、本県の子どもの生活実態や、子どもの生活リズムの乱れが学力に与える影響をデータで示し、その解決に向けた「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動の取組などについて掲載した家庭教育啓発リーフレット「豊かな心を育てる家庭教育のすすめ」を作成し、県内の小・中学生を持つ保護者に配布し啓発を図っています。

本冊子は、子どもの生活リズム向上と家庭の教育力向上を図る実践活動が広がっていくことを願って、PTAと学校が連携協力して取り組んだ具体的な実践事例を紹介しています。

今後、家庭、地域、学校が協力して家庭教育を推進するために、有効に活用していただければ幸いです。

終わりに、本冊子を作成するにあたり、貴重な原稿をお寄せいただきました関係者の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

平成19年3月

福岡県教育庁教育企画部生涯学習課長

津上 正幸

# 目 次

1	事業の概要	1
2	アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業実施報告書掲載校一覧	2
3	実施報告	
	新宮町立新宮東小学校 P T A	3
	前原市立波多江小学校 P T A	5
	小竹町立小竹南小学校 P T A	7
	中間市立中間北中学校 P T A	9
	久留米市立竹野小学校 P T A	11
	朝倉市立秋月中学校父母教師会	13
	大牟田市立倉永小学校父母教師会	15
	大木町立大溝小学校 P T A	17
	川崎町立川崎東小学校父母教師会	19
	田川市立弓削田小学校父母教師会	21
	豊前市立八屋小学校 P T A	23
	みやこ町立犀川小学校 P T A	25
	北九州市立花尾小学校 P T A	27
	福岡市立香椎浜小学校 P T A	29
4	アンケート結果と分析	
	(1) 事前アンケート（子ども対象）	
	①アンケート結果	31
	②結果の分析	32
	(2) 事後アンケート（子ども対象）	
	①アンケート結果	36
	②結果の分析	37
	(3) 事後アンケート（保護者対象）	
	①アンケート結果	40
	②結果の分析	41
5	成果と課題	43
6	資料	44

## 1 アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業の概要

### ○趣旨

「すべての教育の出発点」である家庭教育を充実するため、小・中学校のＰＴＡが中心となり、家庭の教育力の向上を図る実践活動に取り組むとともに、県民への啓発を図る。

### ○期間 平成１８年度～平成２０年度

### ○アンビシャスふくおか家庭教育宣言を実施する学校

H１８実施校：小・中学校１３８校で実施（政令市含む。）

参加児童生徒数：約４０，０００人

### ○アンビシャスふくおか家庭教育宣言の実践内容

①実態把握（事前・事後のアンケート調査）

②事前研修会（実践活動の意欲付け）

③具体的な家庭教育宣言・実践活動

④事後研修会（評価）

### ○各ＰＴＡで取り組む宣言例

（子どもの実態にあわせて親子で決める。）

- ・朝７時までに起きる。
- ・朝ごはんを食べる。
- ・夜９時までに寝る。
- ・ゲームやテレビは２時間までにする。
- ・元気にあいさつをする。
- ・テレビを消して食事をする。
- ・決めた時間までに家に帰る。

### ○連携団体

福岡県ＰＴＡ連合会

北九州市ＰＴＡ協議会

福岡市ＰＴＡ協議会

## 2 アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業実施報告書掲載校一覧

	小・中学校 P T A 名
福岡	新宮町立新宮東小学校 P T A
	前原市立波多江小学校 P T A
北九州	小竹町立小竹南小学校 P T A
	中間市立中間北中学校 P T A
北筑後	久留米市立竹野小学校 P T A
	朝倉市立秋月中学校父母教師会
南筑後	大牟田市立倉永小学校父母教師会
	大木町立大溝小学校 P T A
筑豊	川崎町立川崎東小学校父母教師会
	田川市立弓削田小学校父母教師会
京 築	豊前市立八屋小学校 P T A
	みやこ町立犀川小学校 P T A
北九州市	北九州市立花尾小学校 P T A
福岡市	福岡市立香椎浜小学校 P T A

### 3. 実施報告

#### 福岡地区

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
新宮町立新宮東小学校 P T A	大牟田 直人	相川 源晴
実施形態	全 校	
実施率	( 6 8 2 ) 人	実施率 1 0 0 %
実施期間	6 / 2 6 ~ 7 / 2 ・ 1 0 / 1 6 ~ 1 0 / 2 2 ・ 1 / 1 0 ~ 1 / 1 6	
単 P の特色	地域・学校の協力体制がとれ、意欲的・創造的な P T A 活動が行われています。特色ある活動としては、東っ子フェスタ・見守りボランティア「ちょっと待てっ隊」・緊急メール配信システム・読み聞かせや校内の緑化ボランティア活動などがあります。	

#### 1 事業のねらい

本校は、保護者の教育に対する意識が高く、学校行事やボランティア活動等へも積極的に協力する土壌があります。しかし、本年度実施した子どもの生活実態に関する事前調査では、11時以降に寝ている児童が19%、朝の挨拶があまりできない児童が19%、テレビ視聴時間2時間以上の児童が43%など、基本的生活習慣が十分身につけていない児童がいることが分かりました。この子どもたちの多くが、学習時間にあくびをしたり、家庭学習の習慣が身につけていない等の理由で学力にも影響が出ています。

そこで、生活リズムを整え、より安定した精神状態を保つためには、家庭生活のあり方を子どもたちと一緒に見直す機会が必要であると考えました。

本事業の実施は、保護者と子どもが家庭生活について考え、基本的生活習慣の重要性を再認識し、その確立を図るきっかけづくりをねらいとしています。

#### 2 実施経過

平成18年2月 P T A 運営委員会で「新家庭教育宣言」に取り組む事を確認  
 4月30日(日) P T A 総会にて、「新家庭教育宣言」の説明、承認  
 6月21日(水) 学習参観日「家庭教育講演会」を実施 講師 古川澄子先生  
 子どもたちの明るい未来を切り開くために  
 ～見直そう、子育て・親育ち～

6 月 2 6 日 ~ 7 月 2 日 第 1 回「〇〇家宣言」

1 0 月 1 6 日 ~ 1 0 月 2 2 日 第 2 回「〇〇家宣言」

1 1 月末 実施結果(児童・保護者・教師の評価)をまとめ学校通信で報告

1 月 1 0 日 ~ 1 月 1 6 日 第 3 回「〇〇家宣言」(県下一斉親子ふれあい週間)

※ 料理講習会【我が家の食を見直そう】の実施(年3回) P T A 教養委員会

### 3 具体的な事業の実際



#### 家庭教育宣言に関する主な活動

- ① 新家庭教育講演会(写真) 古川澄子先生
- ② 「〇〇家宣言週間」の取組。(早寝・早起き・朝ごはん+家族で決めた約束)
- ③ P T A会長の b l o g による啓発
- ④ P T A広報誌“ひこばえ”、学校通信によるアンケート集計結果の報告、学級集会での活用
- ⑤ P T A教養委員会による料理講習会“早くて簡単朝ごはんメニュー”など

平成 18 年 6 月 21 日

保護者各位

新宮東小学校 P T A 会長 文幸田 直人 校 長 相川 源晴

アンパシヤスふくおか家庭教育宣言事業・福岡県 P T A 連合会家庭教育支援事業 子育て・成長を、決めよう家族の絆！

### “新”家庭教育宣言

…考えよう 今 家庭で 出来ること…

#### 私達が受けてきた家庭教育

- 子どもは早く(家)い。早寝、早起きをする。(早起きは三文の徳、寝る子は育つ)
- 玄関に入ったら靴を脱がない。
- 学校から帰ったら、すぐ宿題をしなさい。
- 食べ物を残さず食べてはいいけない。
- 約束は守らなさい。
- 人の言う事、先生の言う事を聞きなさい。
- 子どもはテレビの時間まで。
- お客さんには挨拶しなさい。

● 親は口を揃えてるが、子どもは親にタコが出来る。毎日繰り返して聞かされた。それで、いつの間にか基本的な生活習慣が身に付いていた。

● 教育するのは母親だけでいい。祖父、祖母、近所のおじさん、おばさんなど様々いた。

#### 家庭教育の現状

- テレビ、ビデオ、テレビゲーム等、時間を決めるに無制限。
- 帰宅時に親が不在の家庭が増加。
- 愛される事、叱られる事が少ない。
- 夕食は、塾習い事のため遅く一緒に食べる機会が減少。
- 少子化で、兄弟環境が減る。
- それぞれが夢でコミュニケーション不足。
- 朝食を食べない子どもが多い。
- 子どもは怒られるより自分で体験しないことは絶対出来ない。身につかない。
- 子どもの教育は、母親中心、他の大人からの声掛けは？
- 社会の変化で親子関係は上下から逆転。

### 新家庭教育宣言に挑戦！

子どもの家庭に合わせて決めよう！

**実施要綱 毎週行います**

- 裏面の「〇〇家宣言」のところに、名前をご記入ください。
- 全員に「早寝」早起き「朝ごはん」に挑戦していただきます。
- 家庭で話し合って早寝、早起きに挑戦する目標の時刻を記入してください。
- 家庭で話し合って、4 番目の宣言項目をご記入ください。
- (例) できなことでおんなじ宣言、練習をする。
- 決めた時刻までに家に帰る。
- 遅刻したらきちんと罰する。
- 約束はきちんと守る。
- 食べ物の残りを減らす。
- 約束後の片付けをする。
- テレビ、ゲームは決められた時間だけに。毎日 0 時間は勉強する。
- 全家中はテレビを消す。
- 取り組み期間は 6 月 26 日～7 月 2 日までとします。
- 期間中は毎日、記録用紙に毎日 0 ヶムやコメントを親子で話し合せて記入し、日曜日に親子で要約の取組めを振り返りましょう。
- 毎日達成出来たら、家庭で話し合せて次の目標にも挑戦しましょう。

### 家宣言！

年 級 \_\_\_\_\_ 児童氏名 \_\_\_\_\_

7 月 6 日 (水) までに全員提出してください！

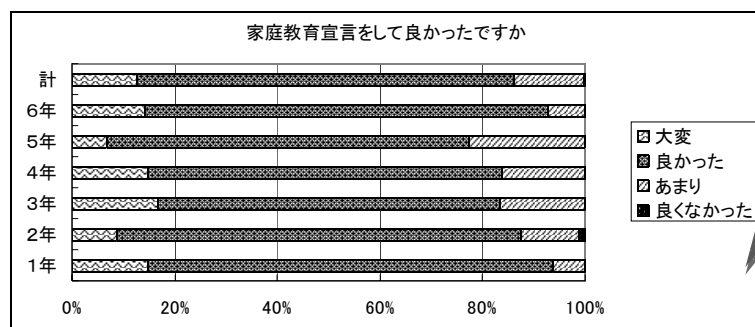
	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目
1. 早寝 ( 時 )							
2. 早起き ( 時 )							
3. 朝ごはん							
4. _____							

家庭で話し合って決めよう！

● 感想 ●

◆ 普段夕食時にテレビがついている我が家です。食事中テレビに夢中で、お箸が止まったり、画面に釘付けだったりとなることが多かったのですが、この一週間しっかりと座り、一生懸命食べる姿を見ることができました。(略) 早寝に関しても、寝付くまでの会話も増え、朝の目覚めもすっきりで、気持ちのいい思いをしました。当たり前のことができていなかったことに気づいたし、こんな簡単な努力で目のリズムが整うのなら、意識して続けていきたいと思いました。(〇〇家宣言後の保護者の感想)

### 4 成果



新家庭教育講演会や「〇〇家宣言カード」を実施することにより、家庭生活のあり方を見直す機会となり、基本的な生活習慣の大切さを再確認することができました。

- アンケートを集約することにより、子どもたちの課題や家庭、地域での課題を確認し、学校、学年、学級経営や P T A 活動に活かすことができました。
- 取組の趣旨や結果を学校行事や学校通信などで保護者や地域に発信することにより、家庭教育の重要性の確認と学校や P T A 活動への理解と協力を得ることができました。

### 5 課題

- 高学年になると、習い事や塾、また、家庭によっては長時間の T V 視聴やゲームなどで基本的な生活習慣が乱れがちです。低学年のうちから基本的な生活習慣を身につけるために、学校・保護者が連携し、今後も継続した活動を進める必要があります。

単位 PTA 名	会長名	校長名
前原市立波多江小学校 PTA	三 苫 秀明	金子 治之
新家庭教育宣言実行委員会	学年学級委員会      17年度 委員長 兵頭 瑞恵 学年学級委員会      18年度 委員長 河津ひろみ (回収率 98%)	
実施形態 実施期間	第 1 期 平成17年 6月～平成18年2月 1～6 学年 30 学級 1163 名 第 2 期 平成18年 7月～ 現在継続中 1～6 学年 24 学級 788 名	
単 P の特色	本校は糸島半島の東に位置し、すぐ近くには瑞梅寺川と雷山川が流れ緑の田園が広がる自然豊かな地域にあります。また、福岡市と隣接し交通の便もよく、多くの転入者を迎え、新しい文化を取り入れながら古き良き伝統も残る地域の中の小学校です。昨年4月、生徒数の増加により東風小学校と分離し、350 名ほどの児童数が減少してしまいましたが、今では子ども達の心にも変化を受け止めるゆとりが現れ始め、本校が目指している「にこにこ はきはき 波多江小学校」に子ども達も自ら動き始め、理想的な形となっています。	

## 1 事業のねらい

学年学級委員会では「基本的生活習慣の更なる定着と、協働・共感等の家庭教育力の向上」を年間目標に掲げ、活動しています。本校では「生活習慣チャレンジカード」愛称 “ちゃれか” を使った活動を昨年度より継続して実施しています。この活動では、家庭において親子でコミュニケーションを取りながら「基本的生活習慣」を具体的に見直し、また、学校では各家庭でのチャレンジ内容や集計結果を持ち寄り、情報交換することで多くの保護者どうしが悩みを含めた子育てを共有・共感できるような学級集会を設定します。そうすることで、家庭、学校の両面において自分自身の生活習慣を考え直すきっかけとなり、このような活動が家庭教育力の向上につながることをねらいとします。

## 2 実施経過

平成 17 年 5 月初旬      基本的生活習慣に関するアンケート調査

6 月 20 日～6 月 25 日 **第 1 回 “ちゃれか” 実施**

7 月 6 日 低学年、参観・学級集会      7 月 13 日 高学年、参観・学級集会

9 月 12 日～9 月 17 日 **第 2 回“ちゃれか” 実施**

9 月 26 日 全学年参観・学級集会 ビデオ「眠りと遊びを奪われた子どもたち」上映

10 月 11 日～10 月 15 日 **第 3 回“ちゃれか” 実施**

11 月 10 日 教育講演会 「メディアと私たち」

11 月 14 日～11 月 19 日 **第 4 回“ちゃれか” 実施**

12 月 3 日 全学年参観・学級集会

12 月初旬 基本的生活習慣に関するアンケート調査(2 回目)

2 月 6 日～2 月 11 日 **第 5 回“ちゃれか” 実施**

平成18年

7 月 20 日～7 月 25 日 **第 1 回 “ちゃれか 2” 実施**

7 月 19 日 低学年、参観・学級集会      7 月 26 日 高学年、参観・学級集会

10 月 20 日～6 月 25 日 **第 2 回 “ちゃれか 2” 実施**

12 月 3 日 教育講演会 「いのち」をいただく 食育推進



### 3 具体的な事業の実際

#### (1) 表紙



#### (2) “ちやれか”～生活習慣チャレンジカード



◆白抜きの表紙をつけ紛失を避けることと、色を塗ったり文字を書き加えたりと、楽しみながら取り組めるよう工夫した。できたら○できなかつたら×で記録。△、空欄は×で計算。チェックした事がわかるようにスタンプを押したり、コメントを書き入れたりした。

#### 17年度 !

◎朝食・身支度・挨拶・睡眠時間をベースに「夕食時にテレビを消す」「下校はまっすぐ決められた道を通って帰る」など、項目の1つはその時間問題になっている事を取り入れた。又自分で決めるチャレンジ・保護者のチャレンジを加えるなど全学年が同じ項目で計5回の“ちやれか”を行った。

#### 【学年学級委員会】

- ・クラス委員で自クラス分を集約。学年分とあわせて、コメント感想などの結果を学級集会で報告。
- ・委員長、副委員長で学年単位の集約をし、クラス委員、担任へ配布。又、クラス委員宛通信と全会員宛の通信を発行し参観・集会への出席を呼びかけると同時に“ちやれか”の結果報告やお知らせをした。

#### 《他委員会・役員執行部との連携》

#### 【役員執行部・家庭教育委員会】

- ・アンケート調査及び講演会。

#### 【広報委員会】広報誌への掲載、啓発活動。

#### 18年度 !

◎学期に一度のチャレンジとし、朝食・挨拶・睡眠時間は継続しながらも、「挨拶は自分から進んで」など一歩踏み込む内容にした。さらに2学期は、各学年委員の話し合いのもと、学年ごとで項目を変えて行った。  
例) 2年生→忘れ物をしない。6年生→自主学习 60分など。

#### ◆子ども特別チャレンジの例と感想(抜粋)

例) ・風呂掃除 ・靴並べ ・自主学習をがんばる ・お母さんに本を読んであげる ・妹の世話をする  
感想) ・抱っこしてもらってうれしい気持ちになりました。仕事も家のこともやってえらいと思います。・お母さんの本読みが上手でたまりません。・いっぱい話せてよかった

#### ◆保護者のチャレンジの例と感想(抜粋)

例) ・腹筋 ・ダイエット ・30品目を使った料理 ・早くしなさいと言わない ・一日一回子どもを抱っこ。  
・禁酒、禁煙 ・寝る前の読み聞かせ ・夫婦ゲンカをしない・一日一回ほめる  
感想) ・子どもには出来ないと言われてしまいましたが、やってみると大変さがわかりました。・家族での会話が増えた。・お手伝いが助かる・時間を作ることの難しさを実感しました。

### 4 成果

1期目終了時に行ったアンケート調査では、約8割の保護者がこの取り組みを肯定的にとらえ、継続していきたいと答えました。2期目には委員のリーダーシップのもと学年ごとで話し合い、年齢に応じた項目を決めたことは、“ちやれか”をより進化させたといえます。現在まで、数値的に劇的な改善や向上は見られないものの、回収率も100%近く、保護者の意識の変容や生活習慣を見直すきっかけ作り、また、家族間のコミュニケーションが深まったことから、少しずつでも「家庭の教育力の向上」につながっていると確信します。

### 5 課題

“ちやれか”は常に進化し続け、各家庭が必要であるチャレンジ項目をそれぞれ話し合い、実施継続することで家庭での基本的習慣を見直し、家庭が本来持つべき機能を高めていくこと、また、参観学級集会で共通の課題等に取り組みながら、家庭と学校が協力し合い、ネットワークを完成させることを最終目標とします。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
小竹町立小竹南小学校PTA	宗 永 英 之	山 近 光 太 郎
実 施 形 態	全校	
実 施 率	197名 実施率100%	
実 施 期 間	7月3日～7月7日（第1期） 8月7日～8月11日（第2期） 9月4日～9月8日（第3期）	
単 P の 特 色	地域と学校と連携した「登下校巡回指導」や「朝の挨拶運動」に取り組んでいます。 小竹教育の日に児童・PTAが日頃取り組んだことを地域に向けて発表しています。	

### 1 事業のねらい

本校の児童の生活実態調査から次の4つの課題が分かりました。

- ①夜更かしをする子は学年が上がるに従って多くなります。
- ②起こされないと起きない子も目立って多いです。
- ③朝ご飯も一割近くの子が毎日食べていないようです。
- ④お手伝いしている子が少ないです。

この課題解決のため、親子で朝食メニューを考え、お子さんがお手伝いできる「チャレンジ親子で朝食作り」を実施し、自らの家庭教育を見つめ直すきっかけとすることをねらいとしました。

### 2 実施経過

5月15日	第1回実行委員会（組織・年間計画作り）
6月19日	第2回実行委員会（具体的方法の検討）
6月26日	機関誌第1号発刊（本校の児童の課題・「チャレンジ親子で朝食作り」・朝食簡単レシピ1）
7月14日	子育て講演会を実施 第3回実行委員会（チャレンジカード作成）
7月19日	機関誌第2号発刊（第1回「チャレンジ親子で朝食作り」の報告）
9月19日	機関誌第3号発刊（第2回「チャレンジ親子で朝食作り」の報告・朝食簡単レシピ2）
10月31日	機関誌第4号発刊（第3回「チャレンジ親子で朝食作り」の報告・家庭教育宣言事業のまとめ）

### 3 具体的な事業の実際

- (1) 親子で、朝食メニューを考え、その中でお子さんがお手伝いできる部分について後記のような3つのレベルを設定し、それを参考にして参加するようにさせました。
- (2) 朝食の意義や簡単朝食レシピを機関誌に載せ朝食を食べる子どもを増やしました。
- (3) 小竹教育の日（学習発表会のようなもの）において「チャレンジ親子で朝食作り」の取組を保護者や地域の方に知らせたり朝食作り実演コーナーを設けたりしました。

(1) の実際 「チャレンジ親子で朝食作り」の実際の取組は下記のとおりです。

レベル	内 容	具体的な取組
レベル 1	朝食の準備や 後片けに参加する	テーブルふき・食器並べ・後片付け・ご飯をつぐ・ お皿を洗う・みんなにお茶をつぐ
レベル 2	調理のお手伝い	ホットケーキの粉をまぜる・パンを焼く・おにぎりを作る サンドイッチの具をのせる・卵を割る・ソーセージを炒める・パンにジャムをぬる・味噌汁の味噌こし・野菜や果物を切る・おかずを温める
レベル 3	献立を考え、調理し、一品以上作り上げる	卵を焼く・（目玉焼き、卵焼き、スクランブルエッグなど） ホットドッグ・フレンチトーストを作る・味噌汁を作る・ おかずを作る（オクラの肉巻き・野菜炒め・焼き魚・大根おろしなど）

- ・ 回を重ねる毎に上位のレベルを目指す子が多くなりました。
- ・ 低学年の子が料理することに保護者の方も驚かれていました。

(2)の実際 機関誌で紹介した簡単朝食レシピは下記のとおりです。



「レタスとベーコンのみそ汁」と「納豆スクランブル」のレシピを機関誌第1号で紹介しました。

このほかに、和食の「千切り大根の卵とじ」や「ピーマンと塩昆布和え」や「わかめときゅうりの梅干し和え」等を紹介しました。

(3)の実際 朝食作り実演コーナーを小竹教育の日に催しました。



7・8・9月に行った「チャレンジ親子で朝食作り」で培った腕前を友達や保護者や地域の方の前で披露しました。



腕前を披露するのに参加したのは4・5・6年生の7名で、オムレツやスイートポテトやホットケーキ作りに親子で挑戦しました。

#### 4 成果

- 朝食を毎日食べてくる子が72%から95%に増えました。あわせて、朝自分で起きるようになった子も増えました

#### 5 課題

- アンケート等の回収率を増やし、この取組を保護者全体に浸透させる必要があります。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
中間市立中間北中学校 P T A	阿 部 昭 子	加 賀 利 男
実施形態	(全校) 学年 学級 その他 ( )	
実 施 率	(実施した生徒数) 209人 実施率 100%	
実施期間	第一期 7月10日(月)～7月14日(金) 第二期 10月23日(月)～10月27日(金) 第三期 1月15日(月)～1月19日(金)	
単 P の特色	挨拶運動、献血運動、研修、各種バザー等各委員会が精力的に活動しています。また1小1中の校区特性をいかし、小学校 P T A と連携した活動も行っています。	

## 1 事業のねらい

校区内の保育園・小学校・中学校の保護者が一体となり、学校と家庭が協働することで、子どもが生活の中で「早起き」を価値ある活動として実感できる活動を工夫し、繰り返し取り組むことで、各家庭の子育ての意識も高まり子どもの規則正しい生活習慣を定着させます。

## 2 実施経過

4月13日(木)	第1回実行委員会にて取組について協議し実施計画案を作成する。
4月28日(土)	P T A 総会にて「新家庭教育宣言」事業について概要を説明し、本年度の P T A 活動の大きな柱とすることを決定する。
5月11日(木)	第2回実行委員会を開催し、講演会について協議する。
5月12日(金)	保育園・小学校・中学校「家庭教育講演会」を開催 演題「思春期を乗り越えられる子ども達を育てるために・・・」 講師 助産師 内田 美智子先生
7月 6日(木)	第3回実行委員会を開催し、第一期の取組について協議する。
7月 3日(月)	第一期早起きキャンペーンを実施する。
7月 7日(金)	
10月 5日(木)	第4回実行委員会を開催し、第二期の取組について協議する。
10月23日(月)	第二期早起きキャンペーンを実施する。
10月27日(金)	
11月 2日(木)	第5回実行委員会を開催し、第三期の取組について協議する。
1月15日(月)	第三期早起きキャンペーンを実施する。
1月19日(金)	
3月 1日(木)	第6回実行委員会を開催し、取組の成果・課題等のまとめを行う。



### 3 具体的な事業の実際

年間にわたり、第一期・二期・三期の取組を中学校PTAだけではなく、小学校PTA・保育園保護者会と合同で一斉に同時期に同内容で行いました。

#### (1) 事前の取組

- ① PTA総会や学年保護者会で取組の趣旨説明を行いました。
- ② PTA委員会活動の最初に「眠りと遊びを奪われた子どもたち」を視聴しました。
- ③ 生徒に対し、「早起きのすすめ」の授業を全校一斉に行いました。
- ④ 「チャレンジシート」に早起き時間等親子での約束事を記入しました。

＊事後には「振り返りシート」を活用して親子で1週間を振り返ることにしました。

#### (2) 第一期 早起き週間の実践

期間：平成18年7月3日（月）～平成18年7月7日（金）

時間：7時30分登校（通常は8時25分登校）

実践：登校時間を55分早め、7時30分までに登校し運動場集合としました。この時間帯に身体を動かすことを主目的として、「みんながゲーム感覚で楽しめる」を合い言葉にグラウンドで「百足競争」「大縄跳び」を時間いっぱい行いました。



#### (3) 第二期 早起き週間の実践

期間：平成18年10月23日（月）～平成18年10月27日（金）

時間：7時45分登校（通常は8時25分登校）

実践：登校を40分早め、7時45分までに登校しました。この時間帯は、文化祭前であり、全学級とも合唱コンクールの練習時間としました。

#### (4) 第三期早起き週間の実践

期間：平成19年1月15日（月）～平成19年1月19日（金）

実践：早く起き、家庭において自分で昼食の弁当づくりに取り組みます。

### 4 早起き週間を終えて ○生徒 ☆保護者

- 最初は朝起きるのがきつかったけど何日かたつと慣れてきてあまりきつくなくなりました。
- 朝早く起きて運動なんてあり得ないと思ったけど、意外と目も身体も覚めるし楽しかったです。
- 早く起きて、早く学校に行かなければならなかったからきつかったです。
- ☆最小限の声かけで実行できました。早起きするための工夫を自分自身で考えていたようです。
- ☆学校から帰ってすぐ食事ができるようにしたり、テレビの時間を減らして早寝をさせました。
- ☆家族も普段より1時間早めに起床しました。朝の準備に余裕を持てましたが、少々寝不足気味です。

### 5 成果

生徒が事前に立てた目標に対して、86%が（「達成できた45%」「だいたい達成できた41%」）、普段より早く起きて一日のスタートが切れています。

保護者の協力については、81%が（「協力できた49%」「だいたい協力できた32%」）、生徒の活動をサポートできました。

また、同時期に校区内の保小中で一斉に実施したことで、保護者の意識化が図られました。

### 6 課題

PTAと学校が協働し、自分の生活時間の中で、きちんと睡眠を取り、余裕をもって起き、朝食を食べ、登校するというサイクルを身につけさせる地道な取組を継続させていかなければならないと考えています。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
久留米市立竹野小学校PTA	清 水 雅 之	焼 山 由 美 子
実施形態	全校 6 学年 7 学級 (特学 1 学級) 1 1 7 名	
実施率	(実施した児童) 1 0 2 名	実施率 8 7 %
実施期間	7 月 2 1 日～8 月 3 1 日 夏休み期間	
単Pの特色	<p>保護者の教育に対する関心は高く、学校の教育環境の整備等に協力的です。「登校指導」「資源物回収」や「シルバー保安官」といったPTA活動や地域活動を通して、子どもの安全と地域全体での子育てをめざしています。</p> <p>特に、2月の「青少年育成の集い」では、地域の方も参加するバザーや講演会があり、人と人とのつながりを大切にするものになっています。</p>	

## 1 事業のねらい

PTA活動や青少年育成活動など熱心な地域です。しかし、近年子ども達を取り巻く環境が変化し、睡眠時間や朝食が足りない子どもが増えてきています。

そこで、家庭生活を振り返り、改めて自らの家庭教育を見つめ直す必要があると考えました。そのために、子どもの基本的生活習慣に関する努力目標を決め、家族も協力して達成できる家庭教育宣言を行っていきたいと考えます。

## 2 実施経過

- 4月20日(木) PTA理事会・合同委員会での家庭教育宣言実施の説明  
テーマの決定「早寝・早起き・朝ご飯」
- 5月11日(木) PTA総会にて保護者へ取り組みの説明  
テーマをもとに各学級PTAで努力目標の設定
- 6月 5日(月) ‘新’家庭教育宣言についての事前アンケート実施
- 6月14日(水) 学習参観後子育てネットワーク「子育て工房」代表の‘古野 陽一’氏を  
招いて「子育てとメディアの関係」についての講話
- 6月21日(水) 事前アンケートの結果報告とPTA理事会での新家庭教育宣言実施の期  
間と内容の検討
- 7月 7日(金) 事前アンケートの結果報告と学級PTAでの新家庭教育宣言の具体的内  
容・方法の説明
- 7月21日(金)～8月31日(木) 新家庭教育宣言の実施
- 9月 7日(木) 各学級PTAでの新家庭教育宣言の実施内容報告と2学期の  
「早寝・早起き・朝ご飯」に関する具体的努力目標の設定
- 9月12日(火) 新家庭教育宣言実施についての意識調査
- 10月23日(月) 新家庭教育宣言についての事後アンケート実施
- 10月30日(月) 「食と生活習慣」についての保護者啓発授業公開

## 3 具体的な事業の実際

### (1) PTA総会で、新家庭教育宣言の実施承認

#### 【学校だよりから・・・】

本年度の事業として、県PTA連合会家庭教育支援事業の新家庭教育宣言事業を受け、家庭教育の充実を推進することが決まりました。親子で相談して基本的生活習慣やテレビ時間、言葉遣いなどの努力目標を宣言し、その実現に家族ぐるみで取り組む運動です。PTA活動として組織ぐるみで取り組むことで、成果も上がり、子どもたちの成長を実感することができるのではないかと思います。

## (2) 地域学校公開での新家庭教育宣言講演会

第1回の活動の実施として‘新’家庭教育宣言講演会を行い、テレビやゲームなどのメディアが子どもの成長にどのように影響を及ぼすかというテーマで‘古野 陽一 先生’からお話しを聞きました。

### 【講演の内容】

- メディアコントロールの大切さ
  - ・ 自分でテレビ等を切る
  - ・ 寝る時間が安定する。
  - ・ 家族との会話が增える

### 【保護者の感想】

- ・ メディアコントロールが意識的にできる子どもに育てていきたい。
- ・ テレビやインターネットの怖さがよくわかった。

## (3) 夏休み中の‘新’家庭教育宣言の実施

夏休みに「親子の約束ノート」（‘新’家庭教育宣言）を4週間実践していった。宣言項目は、早寝・早起き・朝ご飯以外にお手伝い・挨拶・テレビゲームの時間等多岐にわたっていました。下記の感想から親子の約束決めて実践することで子ども達の自主性があらわれたり、家族みんなで約束を決めることのよさ感じられたりとPTA全体で取り組む意義を感じました。

### 【児童の感想】

- ・ 朝食を食べていなかったが、毎朝食べるようになった。
- ・ なぜか、自分からするようになった。

### 【保護者の感想】

- ・ テレビを消すことで、家族の会話ができてよかった。
- ・ 夜テレビを早く消すと無理なく早寝ができた。

## (4) 保護者参観での食と生活習慣等の啓発授業

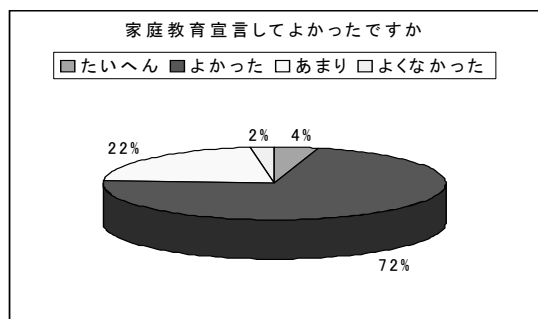
【1年 自分ができる仕事をみつけよう】 【6年 自分たちの食事について考えよう】 【保護者の感想】



家でもしっかり仕事を与えようと思いました。

家庭での食事の大切さがわかりました。

## 4 成 果



- 76%の保護者が、肯定的に受け止めている。また60%の保護者が、今後も続けたいと考えています。
- 親子で約束を決めることで、親子のコミュニケーションが豊かになり、家族一緒に努力する姿ができてきました。
- 子どもの生活を見直すきっかけ作りになりました。
- 全員参加のPTA活動になりました。

## 5 課 題

- 家庭教育宣言項目の共通課題の設定と時期・回数
- 発達段階における宣言ノート（親子の約束ノート）の工夫
- PTA新聞等での広報の在り方
- 継続的な取り組みの在り方

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
朝倉市立秋月中学校父母教師会	内 村 隆 之	砥 上 力
実施形態	中学校全校      3 学年      3 学級      その他（特学 1 学級）	
実施率	実施した生徒数      9 8 名      実施率 9 8 . 9 %	
実施期間	第一期   6 月 5 日～      6 月 1 8 日（第 1 期） 第二期   7 月 2 4 日～   8 月 3 1 日（第 2 期） 第三期   1 0 月 2 日～ 1 0 月 1 5 日（第 3 期）	
単 P の特色	文部科学省の「コミュニティ・スクール推進事業」の調査研究事業の研究指定を受け、地域に信頼される学校づくりをしている学校です。また、平成 1 5 年から平成 1 7 年まで福岡県教育委員会の「小中連携」の研究指定を受け、9 年間を見通した教育の実践的研究に取り組んできました。PTA 活動においても定期的に小中 P T A 連絡協議会を行ったり、行事（リサイクル活動、会員セミナー、地域懇談会等）を開催したりしています。本校は小中一貫校を意識して、地域立学校を目指しています。	

## 1 事業のねらい

P T A 活動や地域の伝統行事などに熱心に取り組む地域ではありますが、近年、若い親が多くなったり、産業構造の変化にともない、多忙な親が多くなったりしています。

そこで、この新家庭教育宣言を実施することで、親子の絆を深め、親子関係を円滑にすることや目標、約束などを設定して取組を実施することで、子どもの頑張りを認め、励ますことで、たくましく健やかな子どもを育てることができると考えました。

活動目標として

- 親子で話し合って目標・約束を決めよう。
- 目標・約束を実施するときに、お互いを励ましたり、ほめたりしよう。
- 一週間毎に振り返り、話し合って次の活動につなげよう。
- 実施終了後の思いや感情を話し合ひましょう。

## 2 実施経過

4 月 1 1 日（火）P T A 理事会にて「新家庭教育宣言」の取組を実施することを確認する。P T A 会長から昨年度に引き続き、家庭教育を見直す機会にすることを提言してもらう。

4 月 2 4 日（月）P T A 総会において「新家庭教育宣言」事業計画を提案し、P T A 会員の承認を得る。

6 月 5 日（月）この日より、年間 3 回の「新家庭教育宣言」の取組を実施する。

6 月 8 日（木）小中 P T A 会員セミナーを開催し、福岡県教育企画部生涯学習課主任社会教育主事、久保ひろみ先生を招いて「考えよう、今、家庭・地域でできること」というテーマで講話をしていただいた。



### 3 具体的な事業の実際

6月8日の小中PTAの会員セミナーの「新家庭教育宣言」講演会を受けて第1回の活動を実施していきました。また、PTAの学年委員会より家庭教育に関する保護者の意識調査を実施したり、地域懇談会の中で、秋月中学校の「望ましい家庭像」を提案したりしながら、「新家庭教育宣言」に取り組むことの意義、価値について啓発を行いました。さらに、校長先生からの学校便りでも、新家庭教育宣言の取組について啓発をして頂くことによってPTA会員の意識を高めていきました。



御膳料理の再現：食育との関連で



防犯駅伝大会：PTAによる豚汁づくり

「新家庭教育宣言」を実施する際に、目標・約束を設定してから取組をはじめることになりました。目標・約束は、親子別々のものにして、基本的な生活習慣や規範意識、食育関係を中心に親子が、お互いに高まりあえることができるように設定しました。特に、夏休み（第2期）からの取組では、一週間毎に、成果と課題を出し合って、点検カードに記入させたことは、具体的に、それぞれの生活を見直すよい機会となりました。この取組が功を奏して、夏季休業期間中も生徒は規則正しい生活を送ることができ、問題行動等を起こす生徒を出すことがなかったように思います。また、9月に入ってから生徒は落ち着いて学習活動に取り組み、学力の向上はもちろんのこと、生徒指導上の問題も激減しています。

親の意識としても「普段、目標を意識せずに生活するのとしめないのでは生活の充実ぶりがまったく異なる」とか「親子で話し合う時間が増えた」「親子がお互いに励まし合うことができた」「子どもの頑張りや成長していく過程がわかった」など、肯定的な意見や感想が数多く寄せられました。

### 4 成果

- 新家庭教育宣言の取組を実施する際に、目標や約束を各家庭に委ねたことは、子どもの生活実態を見つめ、親子の話し合いを促す機会になりました。
- 年間3回の実施で夏休みを入れたことは、規則正しく夏休みの生活を送らせるのに有効でした。
- 目標・約束を達成するために努力したことを認め合い、取組の成果を親子でわかちあうことができました。
- 家庭教育のあり方や子どもの見方が具体的な活動や生活の様子をもとに語られるようになりました。

### 5 課題

- 新家庭教育宣言の取組を一過性のものとしてではなく、日常的な習慣にしていくかを検討する必要があります。
- 新家庭教育宣言の取組の成果を交流し合い、家庭教育全体を高める必要があります。

## 南筑後地区

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
大牟田市立倉永小学校父母教師会	泉 英 明	田 川 一 郎
実施形態	全 校	
実施率	298人	実施率 100%
実施期間	6月下旬～10月下旬(第1～3期2週間ずつ)	
単Pの特色	保護者の教育への関心は高く、学校教育活動にも協力的で、PTA行事や学校行事などにも多数参加されます。特色としては、地域と連携した見守り活動や教育講演会の開催、第1, 第3土曜日の「ふれあい広場」の開催などが挙げられます。	

### 1 事業のねらい

児童の基本的生活習慣の低下が叫ばれる中、もう一度「わが子」「わが児童」の基本的生活習慣を見つめ直し、よりよく身に付けていくために、その基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」の実践に、PTAと学校が一体となって断続的に取り組みます。そして、その定着を図る機会を設定し、親子のふれあい等の促進します。

### 2 実施経過

3月10日	運営委員会にて取組決定「テーマ：早寝・早起き・朝ごはん」
4月26日	事業説明会参加→事業計画案作成
5月10日	実行委員会の立ち上げ・事業計画案審議(運営委員会)
5月21日	PTA総会にて趣旨及び事業計画説明
6月上旬～中旬	研修会講師選定及び依頼、啓発チラシ作成、取組記録表作成等
6月26日	事前アンケート実施、啓発チラシ配布
7月3日～7月14日	第1回取組旬間実施
7月上旬	事前アンケート集計・分析
7月12日	研修会実施 講師 少年サポートセンター補導職員 友清貴子 氏
7月15日	成人教育講演会実施 講師 NPOエスペランサ代表 馬場菊代 氏
9月5日～9月15日	第2回旬間実施、三行詩・写真の募集
10月10日～10月20日	第3回旬間実施
10月25日	事後アンケートの実施
11月上旬～下旬	事後アンケート集計・分析、報告書作成

### 3 具体的な事業の実績

## 倉永小学校PTA 「新」家庭教育宣言

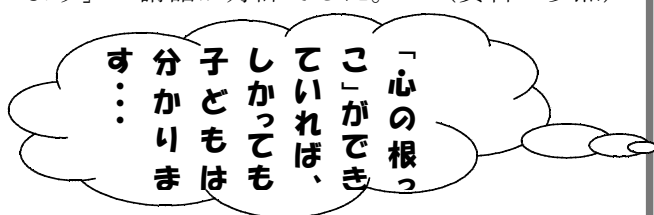
## 親子で挑戦！ ～早寝早起き朝ごはん～

(1) 実行委員会を組織しての取組推進(運営委員会と兼ねる)

(2) 研修会及び講演会の実施

【資料1：研修会速報】

研修会では、友清先生の「心の根っこを育てよう」の講話が好評でした。(資料1参照)



(3) 「新」家庭教育宣言旬間」の取組設定(3回)

～早寝・早起き・朝ごはん～【資料2：取組記録表】

おやこでようせん！ ～はやねはやあき あさごはん～		倉永小学校PTA「新」家庭教育宣言		大塚田市立倉永小学校		友清先生	
おやこのやぐさく		おやこのやぐさく		おやこのやぐさく		おやこのやぐさく	
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32

保護者の感想：身につくよう普段から子どもとともにがんばっていききたい！

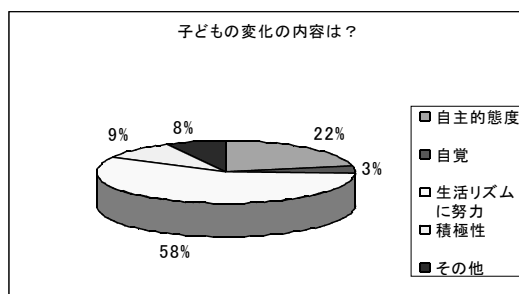
※このほか、チラシ等による啓発、アンケートを実施して取組の評価等を行いました。

【資料3：評価アンケート結果】

### 4 成果

○学校と家庭の一体となった取組により、取組内容が全体的に向上してきました。

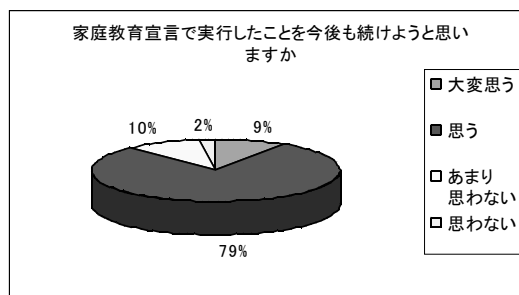
○この結果、半数の児童に変容がみられ、特に自主的態度や生活リズムへの努力が見られるようになり[資料3参照]、しつけの大切さや親のあり方についての保護者の意識も高まってきています。



【資料4：評価アンケート結果】

### 5 課題

- 半数の保護者の変容は見られましたが、家族の変容まで浸透し得ませんでした。
- 保護者の84%が取組を評価し、88%が取組の継続意志を持っているので、根気強く継続し子どもと保護者の変容を図っていく必要があります。[資料4参照]



単位PTA名	会 長 名	校 長 名
大木町立大溝小学校PTA	野 田 昌 志	石 川 省 三
実施形態	全校（16学級） 児童数 421人	
実施率	前期（7月21日～8月3日）後期（8月4日～8月31日） 実施率100% カード提出率（前期88%・後期90%）	
実施期間	夏休み期間中（7月21日～8月31日）	
単Pの特色	これまで、学校と地域と家庭とが連携した収穫祭（作物を育て、食する）を実施し、食生活の見直しに力を入れてきました。特に、子どもの朝ご飯の摂食率は96%を越えるようになり、現在、誰と何を食べているかを課題とした食育に力を入れています。また、本年度は『家庭教育力の向上（オアシス運動含む）と常置委員会の活動の充実』を重点目標に掲げ、家庭での子どものしつけ方について、各保護者が考えてもらうように、地域の区長や公民館長などを交えた地域懇談会・家庭教育講演会・学級PTAを充実させてきたところです。	

## 1 事業のねらい

子どもの生活の場である学校と家庭と地域の各々が、役割を自覚し、連携して子どもたちに係われれば、子どもたちの心が耕され、基本的生活習慣の定着が図れると共に、自主性や社会性（規範意識）が培われると考えました。そのために、家庭においては、新家庭教育宣言を通して、下記のねらいをめざすものです。【子どもの生活習慣改善】

- ① 親子の心のふれあい（対話）を通して、めあてを設定し継続的に取り組むことで、子どもの生活の基盤となる基本的生活習慣を身につけます。
- ② 親子で決めた約束を守ることで、模範的な行動がとれる子どもを育てます。  
（保護者自ら、規範行動の実施）

## 2 実施経過

○4月28日	PTA総会で参加者に趣旨説明
○6月 6日	実行委員会で取り組み方について協議
○6月27日	家庭教育講演会 講師：東和大学教授 正平 辰男先生（対象：全P） 「新家庭教育宣言の実施に向けて」291名中150名ほど参加 実行委員長より、保護者へ実施について再度説明
○7月12日	保護者にひまわりカード1・2と趣旨及び記入方法の案内配布 （親子で話し合って記入した後、学級担任へ提出）
○7月21日～8月3日	前期（ひまわりカード1）実施（全家庭）
○7月28日・31日・8月4日	地域懇談会で、家庭での実施状況の報告
○8月4日～8月31日	後期（ひまわりカード2）実施（全家庭）
○9月6日・10月6日	実行委員会で、ひまわりカードの集計と分析
○10月22日	家庭教育講演会 講師：東和大学教授 正平 辰男先生（対象：全P） 「新家庭教育宣言の取組を通して」291名中120名ほど参加 実行委員長が実施状況・成果と課題・表彰について報告
○11月6日	全校朝会と各担任から90%以上達成した家庭に賞状を授与
○12月8日	新家庭教育宣言の成果と課題を保護者に文書で報告

### 3 具体的な事業の実際

#### (1) 【ひまわりカード1・2】と【ひまわり賞】

- ①夏休み期間中を前期と後期に分け、前期のめあての実践の評価後、後期のめあての設定
- ②共通宣言項目「おはようございます」と家庭独自宣言項目の形式

ひまわりカード1

親は外をぬります

子どもは内をぬります

おはようございます  
(オアシス運動)

チャレンジする人全員の  
名前を書きます

どんなことが変わっ  
てきたでしょうか？  
これからどういた  
いでしょうか？

大人は上に、子  
どもは下にめ  
あてを書きま  
す。

例：朝ごはんを必ず食  
例：9時半までにねる

こどものめあて

親子どちらもできた日の合  
計を書きます。

例：最初ははすかしかったけれど、何とか  
あいさつできるようになりました。・・

日  
14日中

日  
14日中

ひまわり賞  
ファミリー  
新家庭教育宣言の取り組みに  
於いてあなたの家庭はあいさつと  
家庭でのめあてを守りきれいな  
花を咲かせる事ができました。  
ここに ひまわり賞を贈ります。

平成18年10月22日  
大溝小学校PTA  
会長 野田昌志

#### (2) 【二度の正平辰男先生による教育講演会】

- ・家庭教育宣言の実施前後に講演をしていただいたので、実施に向けての意欲化と実施後の親としての心構えを考え直す良い機会となりました。ただ、全P数の半数程度の参加だったのが残念でした。

#### (3) 【地域懇談会における取り組みの報告会】

- ・「おはようございますを言おう」の共通の宣言と同時に、各家庭で親子が話し合っ  
て決めた宣言の実施状況を懇談会の折に出し合うことで、成功・失敗談が聞け、他の保護  
者の親としての考え方が聞けました。また、地域の老人会長・区長・公民館長さんも参加  
されていたので、参考になる意見が多く聞かれました。

### 4 成果と課題

＊〈保護者の感想〉—「朝食をとる」「早く寝る」という当たり前のことをするためには、「きちんと作る」「早く寝るように促す」という親の役目が大切だと思います。ややもすると親がさぼりがちだということが実感できました。

#### 《成果》

- 実施して、77%がやって良かったと答えています。その理由は、子どもの生活のリズムができ、自主性が高まりました。また、子どもとも交流ができ、親のあり方を考える機会になったとの回答が多かったです。
- 前期・後期で宣言項目を変えたことで、宣言を必ず継続できるものに修正したり、家族一人一人の役割を見直したりできたので、親子とも意欲的に続けられた家庭が多かったです。
- PTA活動の重点目標『家庭教育力の向上』への具体的な取組が明確になりました。
- 学習への集中力を育てる前提として、家庭生活のリズムが大切なことを自覚して、各家庭で取り組んでもらったことで、学校と家庭との連携の大切さが確認でき、信頼関係が深まりました。

#### 《課題》

- 家庭教育を見直してもらうために、まず、どの家庭も宣言を必ずカードに記入して夏休み中だけ実施しました。継続された家庭が少なかったため、取り組み方を工夫して基本的な生活習慣の定着を図っていきます。(アンビシャスカレンダーの活用を検討中)
- 親がやるべきこと・親がしてはいけないことを話し合う場を確保する必要があります。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
川崎町立川崎東小学校父母教師会	黒 岩 敬	本 田 智 子
実施形態	<div> <div>全校</div> <div>学年</div> <div>学級</div> <div>その他（ ）</div> </div>	
実施率	(実施した児童・生徒数) 328 人      実施率 100%	
実施期間	7 月 1 日      ～      9 月 3 0 日	
単Pの特色	<p>本年度より大峰小学校と統合し、約40名の児童と約30世帯の保護者が新しく加わりました。統合前より、両校のPTAが協議を重ね、新年度をむかえる準備をしました。その結果、年度当初よりスムーズなPTA活動が実施できています。</p>	

## 1 事業のねらい

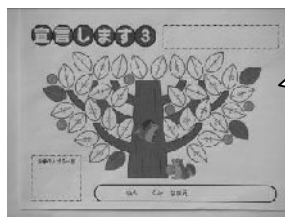
親子で決めた目標・約束と一緒に取り組むことで、親は自らの家庭教育を見直し、このことにより、子どもたちには基本的生活習慣の定着、心の豊かさ、自主性、社会性が身に付くと考えます。

## 2 実施経過

5月11日	PTA総会で趣旨説明
6月12日	事前アンケート実施
6月28日	事前アンケート集約結果配付
7月 1日～ 7月 7日	第1回「がんばりカード」の取り組み (短期 7日間)
7月21日～ 8月 2日	第2回「がんばりカード」の取り組み (中期 14日間)
9月 1日～ 9月30日	第3回「がんばりカード」の取り組み (長期 30日間)
10月17日	「家庭教育講演会」の実施 講演・・・「伝えていますか？人として生きる上で大切なこと」 講師・・・松本直美さん（ほるぷフォーラム）
10月19日	事後アンケート実施
10月26日	「がんばりカード」目標達成児童表彰（実行委員長 PTA会長）
11月 1日	事後アンケート集約結果配付

### 3 具体的な事業の実践

#### (1) “新” 家庭教育宣言の取り組み

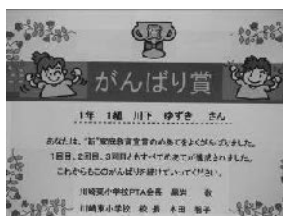


- 第1期取り組み・・・7月1日～7月7日（7日間）
  - 第2期取り組み・・・7月21日～8月3日（14日間）
  - 第3期取り組み・・・9月1日～9月30日（30日間）
- 県P提案の20項目を参考に、それぞれの家庭において親子で努力目標を設定しました。

#### 【資料 がんばりカード】

県P提案の20項目の中で取り組みが多かったのが、「あいさつをきちんとする」「朝は〇〇時までに自分で起きる」「自分の物は自分で片付ける」「お風呂掃除をする」でした。20項目以外の目標も多く、「弟や妹の面倒をみる」「布団敷きをする」「犬の散歩をする」などが見られました。

3期とも全て目標を達成した児童には、そのがんばりを讃え、実行委員長（PTA会長）より賞状（がんばり賞）がおくられました。全校で3期とも目標を達成した児童は60名でした。



#### 【資料 がんばり賞】

#### (2) 家庭教育講演会

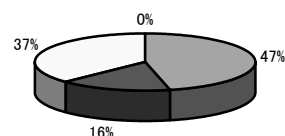


10月17日に、福岡市の松本直美さんをお招きし、「家庭教育講演会」を開催いたしました。松本直美さんの所属しているホルプフォーラムは、〈テレビを消して、家庭に言葉を取り戻そう〉という趣旨で各地で『絵本出前講座』を展開しております。

当日、演題を「伝えていますか？人として生きる上で大切なこと」とし、絵本の読み聞かせを通しての「子育て」について講演をしていただきました。

### 4 成果

- 家庭教育宣言をして、家族に何か変化があったかという問いには右のグラフのように家庭教育に関心が深まり、子どもとのコミュニケーションも深まったという結果が得られました。
- 「子どもの姿からは、進んで手伝いをするようになった。」「自分で決めたことは、責任を持って取り組むようになった。」等の家庭からの報告がありました。



- ア. 子どもの教育(教育)の大切さを再認識した
- イ. 親自身のあり方を考えさせられた
- ウ. 子どもとのコミュニケーションが深まった
- エ. その他

### 5 課題

- 今後この取り組みをどのように継続していくのか、PTA組織内ですること、学校と協力して行うこと等を明確にしていくことが必要ではないかと思えます。
- 研修会の参加者・不参加者が同じメンバーとなりつつあります。多くの大人に家庭教育・子育てに関心を深めるための手だてを考えなければならないと考えます。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
田川市立弓削田小学校父母教師会	高 瀬 真 由 美	加 治 俊 秀
実施形態	全 校	
実施率	(実施した児童) 3 3 1 人 実施率 1 0 0 %	
実施期間	第 1 期 平成 1 8 年 7 月 3 日(月)～ 7 月 1 6 日(日) 第 2 期 平成 1 8 年 7 月 2 1 日(金)～ 8 月 3 1 日(木) 第 3 期 平成 1 8 年 1 0 月 1 6 日(月)～ 1 0 月 2 9 日(日)	
単 P の特色	本校は創立 1 2 8 年を迎え、保護者や地域との連携も深く、学校行事や P T A 活動への参加も協力的です。P T A 活動として朝の交通指導や読み聞かせ・もち米作り・餅つき・どんど焼きなど伝統的な行事があり、学校・家庭・地域・校区活性化協議会が連携して児童の健全育成に取り組んでいます。	

## 1. 事業のねらい

事前アンケートによると、朝食を毎朝きちんと取っていない子が 1 0 %、1 0 時以降に寝る子が 2 5 %、自分ですすんで起きられない子が 9 0 % いたりしていることが分かりました。そんな中で、子ども達は学校での集団生活を送っています。

子ども達に「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」が身に付くことを保護者も教師も望み、日々の教育活動を展開しているのですが、前述のような生活習慣で、子ども達に意欲的に学習に取り組ませることには限界があります。

そこで、この事業を実施することで、家庭は家庭での役割をきちんと果たし、子ども達を元気に送り出していただき、元気で健やかな学校生活を過ごさせたいと考えています。

## 2. 実施経過

- 5 月 1 2 日(金) P T A 理事会で「“新”家庭教育宣言」の取り組みの趣旨や内容について中学校と連携していくことを確認する。
- 5 月 2 3 日(火) 第 1 回実行委員会で取り組みの趣旨や内容について話し合う
- 6 月 6 日(火) P T A 運営委員会で「アンビシャス」のビデオを上映・趣旨説明
- 6 月 2 1 日(水) 高橋 昭朗先生を招いて「家庭教育講演会」を実施する。
- 7 / 3 ～ 7 / 1 6 「チャレンジノート①」(第 1 期)に取り組む
- 7 月 1 0 日(月) 地区懇談全体会で「アンビシャス」のビデオを上映・趣旨説明
- 7 / 2 1 ～ 8 / 3 1 「チャレンジノート②」(第 2 期)に取り組む
- 8 月 1 日(火) 実行委員会(第 1 期の集計・分析・課題把握)
- 9 月 1 5 日(金) 授業参観後の学級懇談で第 1 期の結果について話し合う
- 9 月 1 9 日(火) 実行委員会(第 2 期の集計・分析・課題把握)
- 1 0 / 1 6 ～ 1 0 / 2 9 「チャレンジノート③」(第 3 期)に取り組む
- 1 1 月 7 日(火) 実行委員会(第 3 期の集計・分析・課題把握)アンケート集約
- 1 2 月 5 日(火) 取り組みの成果・課題等のまとめ

## 3. 具体的な事業の実際

「家庭教育講演会」 演題：『お子さんを賢く、確かに育てるために』

講師：福岡県アンビシャス講師団 高橋 昭朗 先生

- (感想) ○非常に聞きやすく、高橋先生の熱意が充分伝わるよいお話でした。忘れかけていた躰について思い出させられました。
- 子どもを変えようと考えていたが終了後は自分が変わらねばと思いました。

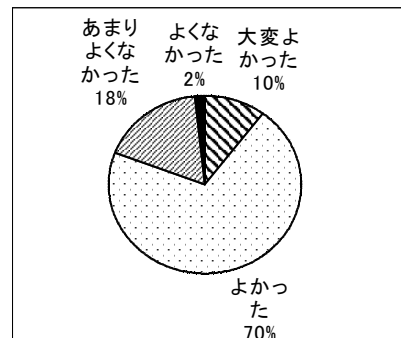


## 《チャレンジカード①》

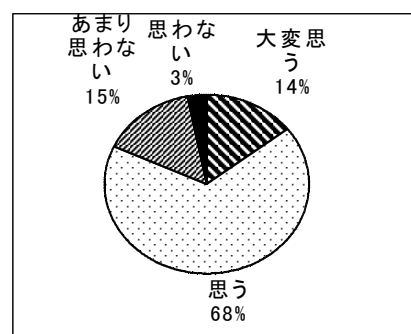
新・家庭教育宣言		田川市立朝陽小学校		名前: たがはさく						
チャレンジ・ノート 7月①		年 大2年 学級 2年								
目標: 7月3日～16日の2週間 (7月の1週) 7月3日～9日	日	3	4	5	6	7	8	9	達成率	備考
宣言項目① 元気にあいさつをする	達成	○	○	○	○	○	○	○	100%	あいさつができてよかった。
宣言項目② 早寝、早起きをする	達成	○	○	○	○	○	○	○	100%	早寝早起きができた。
宣言項目③ 朝ごはんを食べる	達成	○	○	○	○	○	○	○	100%	朝ごはんがおいしかった。

## 《事後アンケート》

家庭教育宣言をしてよかったですか



家庭教育宣言を今後も続けますか



## 《チャレンジカード②・③》

宣言項目①は家庭で話し合って決める

《例》・お手伝いをする

くつ揃え・食事の準備・そうじ・犬の散歩…

・元気に挨拶をする など

## 《感想》

子ども

- 靴並べだけでなく、いろいろなお手伝いをして、喜ばれてうれしかった。
- 自分から進んでたくさんのお手伝いをしたら、いいことや分かることがあるかなと思ってがんばりました。
- 早寝やあいさつがだんだんできるようになりました。
- 野菜をよく食べるようになりました。トイレにも毎日行けてよかったです。

保護者

- 子どもだけでなく親も正直大変でしたが、規則正しい生活を心掛ける良いきっかけになりました。
- 朝ごはんを簡素な物でなく、なるべくおかずを作るようになり、子どもも前以上にご飯を食べるようになりました。
- チャレンジノートに◎をつけて先生に見てもらえることが一番うれしかったようです。時間を大切に過ごしていこうと思いました。
- 食育の大切さを考えると共に、自分や家族を見つめ直す良い機会になりました。
- 守らなければ…と気負いましたが、結果的に規則的になり良かったと思います。
- 目標を決めて取り組むことで、親から「～しなさい」から自分で「～しよう」という姿に変わってきました。

## 4. 成果

- アンケートを集約することで、子どもたちや家庭の課題を把握することができました。
- 「家庭教育講演会」や「チャレンジカード」を実施することで、生活習慣の大切さを家庭に提起することができました。
- 共通して取り組んだ早寝・早起き・朝ごはんでは10時までに寝たり、自分で起きたり、朝ごはんを食べてくる子がたくさん増えるなど改善の方向が見られました。さらに、朝ごはんのメニューを工夫しようと頑張っている保護者の声も多く聞かれました。
- 学区内にある中学校と小学校2校が連携した取り組みを今年以上に充実させたいと思います。
- 「継続は力なり」…基本的な生活習慣の定着を図るため学校・PTA・地域が、一体となった取り組みを工夫していきたいです。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
豊前市立八屋小学校PTA	浅井 孝	富松 久
実施形態	全校児童	
実施率	実施した児童数 248人 実施率 100%	
実施期間	第1期 平成18年 6月15日～ 7月14日 第2期 平成18年10月15日～11月14日	
単Pの特色	PTAの各専門委員会が主体的にPTA活動の企画・運営を行っています。また、活動のふり返し（評価）を的確に実施し、次年度の計画立案に反映させています。特に秋に実施される「ふれあい秋祭り」においては、各専門委員会の役割分担を明確にして教育講演会、安全見守り隊感謝集会、ふれあいバザーなどを実施しています。	

## 1 事業のねらい

本校では、福岡県教育委員会重点課題「キャリア教育」研究指定委嘱校として、「未来を拓く自立心を育むキャリア教育」の研究推進に取り組んでいます。児童の生活実態調査の結果、テレビ視聴の時間と睡眠時間や自分でしなければならないことを自分自身でやりとげることなどについての相関関係が明らかになりました。そこで、事業のねらいを次のように設定しました。

### 【事業のねらい】

- ① テレビを視聴する時間を自己コントロールできる子どもを育てる。
- ② 自由に使える時間を有効に使って、学習用具の準備や家庭学習の習慣化を図る。
- ③ 何時までに寝るという約束を決めて、必要な睡眠時間を確保する。

## 2 実施経過

- (1) 4/23 PTA総会における「新家庭教育宣言」取り組みについての趣旨説明
- (2) 5/17 実行委員会（PTA研修委員会）における実施内容・実施方法の検討
- (3) 6/12 保護者に具体的な実施方法の周知（学校通信）
- (4) 6/15～第1期の実施
- (5) 7/20 第1期の結果のとりまとめ（実行委員会）
- (6) 10/15 「ふれあい秋祭り」における教育講演会  
演 題 「食べるってなあに？」  
講 師 料理研究家 山 際 千津枝
- (7) 10/15～第2期の実施
- (8) 11/15 第2期の結果のとりまとめ（実行委員会）
- (9) 11/20 取り組みの成果・課題についての意見交流・まとめ

### 3 具体的な事業の実際

#### (1) 第1期の結果

- ① テレビを見る時間を○時間以内にする。

十分に達成 60%  
 おおむね達成 22%  
 計 82%

- ② ○時までには寝る。

十分に達成 37%  
 おおむね達成 23%  
 計 60%

#### (2) 第2期の結果

- ① テレビを見る時間を○時間以内にする。

十分に達成 60%  
 おおむね達成 21%  
 計 81%

- ② ○時までには寝る。

十分に達成 37%  
 おおむね達成 31%  
 計 68%

新家庭教育宣言「目標設定・がんばりカード」

豊前市立八屋小学校 5年 1組 名前 山崎 幸子

【ぼく・わたしの約束】

○ 今 テレビを見ている時間 【だいたい 3 時間】  
 ○ 今 ねている時間 【だいたい 10 時 30 分ごろ】

① テレビを見る約束(時間や番組)を決めて、1日(2)時間以内を守る。

② (10)時(00)分までには、おうちの人に言われないうちに寝る。

実施期間 10月15日(日)～11月13日(月) 30日間  
 提出 11月14日(火)～16日(木)

日	月	火	水	木	金	土
15	16	17	18	19	20	21
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
22	23	24	25	26	27	28
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
29	30	31	1	2	3	4
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
5	6	7	8	9	10	11
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②

まもれた日(青・みどりの○のかず)  
 ①テレビ (30 日)  
 ②ねる時間 (25 日)

ふりかえり  
 10時ぐらいいねると、次の日の朝がだるくなる。  
 でも、9時ぐらいいねれば、次の日の朝が、すっきりした。されるので、これから、早起 早起きを、続けていきたいと思っています。

おまの人の言葉  
 早起 早起が、スロビーと、笑います。朝食もきちんと、食べることが出来ます。  
 30日間、よくがんばって、思いっます。これから、守っていきましょう。

#### ※ 保護者のコメント

- テレビを見る約束を決めてから、学校から帰った後、だらだらとテレビを見るのが少なくなりました。時間をうまく使えるようになったのがよかったと思っています。(2年生保護者)
- 自分から進んでできる日もありますが、親が注意したり声をかけたりしてあげないと行動に移せない日もあります。でも、何度か、自分で目標を決めるうちに、自分の中でまもりを守ろうという気持ちがでてきたようです。少しずつですが言われなくてもできるようになってきました。(3年生保護者)
- 「テレビを見る約束」について親自身が考えさせられました。今まで、見ただけ見せ、つい寝る時間も下がって、それが原因で朝、起してもなかなか起きられないという繰り返し～親自身がしっかり子どものお手本となって見たい番組をコントロールしなければと気付かされました。(5年生保護者)

### 4 成 果

- 下校後に多くの時間として奪われていたテレビ視聴時間の問題点に保護者が目を向け、子どもと「見てよい番組」や「見てよい時間」についての約束をつくるなど、生活時間の有効活用についての実践が行われるようになりました。
- 発達段階に応じた睡眠時間の確保の大切さについての理解が深まり、必要な睡眠時間を確保するための子どもへのかかわり(指導・声かけ)が行われるようになりました。

### 5 課 題

- 基本的な生活習慣づくりを更に進め、自分自身でしなければならないことを、自分の力でしっかりとやり遂げることができる力を育てる必要があります。
- 家庭での望ましい生活習慣の一環として、家庭学習の習慣化(自主的な宿題への取り組みと自主学習の実践)を図る家庭と学校との連携策を具体化する必要があります。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
みやこ町立犀川小学校PTA	森原 伸恵	有田 玲子
実施形態	全校児童	
実施率	224名 100%	
実施期間	平成18年5月13日～平成18年10月30日 第1期 平成18年6月19日～6月23日 第2期 平成18年7月10日～7月14日 第3期 平成18年9月 4日～9月 8日	
単Pの特色	・「あいさつ運動」「学校応援団」など学校と家庭・地域が連携した活動が行われています。特に平成17年度からは、スクールガードリーダーを中心とした「地域見守り隊」も組織され、地域をあげての安全対策がとられています。	

## 1 事業のねらい

- 基本的な生活習慣を身につけた児童の育成を目指して、PTA、学校が協力した「早寝、早起き、朝ごはん」運動を行います。
- 児童の学校でのやる気やがんばりは、学校に登校してから発揮できるのではなく、家庭で目覚めたところから始まっているというコンセプトのもと、「夜更かし、朝寝坊、朝食ぬき」をなくすことを目指しています。

## 2 実施経過

(1)	4月16日	PTA総会で趣旨の説明を行う
(2)	5月 2日	実行委員会を行い、形式や方法等の協議を行う
(3)	6月19日	第1期の実施 ※終了後集計と反省、報告
(4)	7月10日	第2期の実施 ※終了後集計と反省、報告
(5)	9月 4日	第3期の実施 ※終了後集計と反省 報告
(6)	10月 1日	実施状況の報告と各家庭での自主的継続実施のお願い
(7)	10月30日	実施状況の感想を集約
(8)	12月 2日	教育講演会
演題「こどもとともに3つの“きょういく”」 ～学校教育、家庭教育の役割を考える～ スクールカウンセラー 山田 幸代先生		

### 3 具体的な事業の実際

#### 『親子の約束カード』の実施

本校では、PTA総会の折に保護者に「新家庭教育宣言」の趣旨やねらいを説明し、この事業に対する理解を得ました。

具体的な進め方については、PTA本部役員会や実行委員会で具体的な資料を提示しながら、進め方について協議を行いました。親子の約束カードは、「早寝」「早起」「朝ご飯」と「おはようございます、おやすみなさいを言う」の4項目と家庭で決めた約束1項目の5項目を親子の約束としました。その結果、表のように回を重ねるごとに生活習慣の定着が図られてきました。特にほとん



どの児童が朝食をとって登校できるようになっています。

	6月19日	7月10日	9月4日
早寝	76%	82%	82%
早起	73%	76%	89%
朝ご飯	89%	96%	98%
あいさつ	73%	80%	83%

#### 『学校応援団』の活動

保護者と連携した活動を行うためには、まず学校のことを知ってもらうことが重要です。

そこで、保護者に学校の様子を見てもらい、学校のサポーターになってもらうために、「学校応援団」を組織しています。

応援団の皆さんは、都合のよい日に学校に来ては、学校の環境整備を行ったり、教室の様子を見たりします。今年は、花壇の花を植え替えたり、図書室の木製椅子にペンキを塗ったりしました。



花壇の花の  
植え替え。



#### 『あいさつ運動』や『見守り隊』の活動



「あいさつ運動」と「見守り隊」は学校、保護者、地域が連携して行う活動です。あいさつ運動は、毎月1日に街頭で児童生徒にあいさつの声かけをします。

また、見守り隊は、毎日、登校時と下校時、地域の皆さんが児童の下校時の引率や安全パトロールを行います。「見守り隊」の輪は、現在でも広がり、協力者がふえています。

### 4 成果

- 「親子の約束カード」を行ったことによって、親子で約束カードの項目を考えたり、守るための工夫をしたりして保護者が支援しながら生活習慣の定着を図ろうとする姿が見られるようになってきました。
- 保護者と学校の連携が深まってきました。

### 5 課題

- 今後も「親子の約束カード」の活動を通して家庭と学校が連携を深めるために活動の付加修正を行う必要があります。

単位PTA名	会長名	校長名
北九州市立花尾小学校PTA	藤田武男	原田 直久
実施形態	全校	
実施率	485人（実施率100%）	
実施期間	平成18年10月16日～29日 平成19年1月22日～2月4日	
単Pの特色	PTA活動の活性化のため、活動のテーマを明確にし、必要に応じてPTA行事に地域参加を呼びかけるなど地域との連携を密にしています。 （PTA理事会・花尾博覧祭など）	

## 1、事業のねらい

本年度の活動方針でもある家庭教育を振り返ると共に、子どもの基本的な生活習慣の確立と親子のコミュニケーションの確立を図ることをねらいとしています。

## 2、実施経過

- 9月 4日 全家庭、生活習慣アンケート実施しました。
- 10月12日 保護者への説明会・研修会を実施しました。  
テーマ「子どもと共に親育ち」  
講師 東筑紫短期大学助教授 中島俊介先生
- 10月16日～29日 第1回花尾チャレンジ宣言をしました。
- 1月22日～2月4日 第2回花尾チャレンジ宣言をしました。
- 2月26日 子どもたちに、修了書を渡しました。

## 3、具体的な事業の実施

### ポスターの作製

子どもたちに、親子で約束（宣言）したことを絵にしてもらい、ポスターを作成しました。

学校内・地域に掲示し、花尾チャレンジ宣言を広く知ってもらうようにしました。



## 花尾チャレンジ宣言

1 回目は5 項目の宣言しました。

### 《宣言項目》

- ① 朝ご飯を毎日食べる
- ② テレビを見る時間を決める
- ③ 寝る時間を決める
- ④ “ありがとう” “ごめんなさい”を自分から言う
- ⑤ お手伝いを一日2 つ以上する

2 回目は前回プラス親子で決めた約束の6 項目の宣言をしました。

### 《宣言項目》

- ① 朝ご飯を毎日食べる
- ② テレビを見る時間を決める
- ③ 寝る時間を決める
- ④ “ありがとう” “ごめんなさい”を自分から言う
- ⑤ お手伝いを一日2 つ以上する
- ⑥ お家の人と決めた約束

(チャレンジカード)

おやぎ 花尾チャレンジ！

★「テレビの時間」と「寝る時間」は、おやぎさんと一緒に決めてください。★

★「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から言う★

★おやぎさんとおやぎさんで決めた約束★

1 回目	おやぎさん	テレビ (1日 時間)	寝る時間 (時間)	「ありがとう」 (回数)	「ごめんなさい」 (回数)	おやぎさん と決めた約束
1月22日(月)	★	★	★	★	★	★
1月23日(火)	★	★	★	★	★	★
1月24日(水)	★	★	★	★	★	★
1月25日(木)	★	★	★	★	★	★
1月26日(金)	★	★	★	★	★	★
1月27日(土)	★	★	★	★	★	★
1月28日(日)	★	★	★	★	★	★

おやぎさんチャレンジカード

★おやぎさんとおやぎさんで決めた約束★

2 回目	おやぎさん	テレビ (1日 時間)	寝る時間 (時間)	「ありがとう」 (回数)	「ごめんなさい」 (回数)	おやぎさん と決めた約束
1月29日(月)	★	★	★	★	★	★
1月30日(火)	★	★	★	★	★	★
1月31日(水)	★	★	★	★	★	★
2月1日(木)	★	★	★	★	★	★
2月2日(金)	★	★	★	★	★	★
2月3日(土)	★	★	★	★	★	★
2月4日(日)	★	★	★	★	★	★

## 修了書

取り組み終了後、子どもたちに修了書を発行し、がんばりを認め合いました。



## 4、成果（保護者アンケートより）

### 第1回目

- \* 生活習慣を見直すいい機会になりました。
- \* 「自分で決めたことは守る」という意識付けができました。



## 5、課題

- \* 兄弟の生活リズムの違い。
- \* 仕事のため、いつも子どものそばについてあげられない。
- \* 習い事の日・週末は守りにくい。
- \* 規則正しい生活週間をすること。

### 第2回目

- \* 子どもが自覚し、生活のリズムを考え努力していました。
- \* 親子で取り組むことにより、意識が変わりました。(コミュニケーションが取れた。)



- \* 夜型になっている生活リズムの改善。
- \* 低学年と高学年での宣言項目の見直し。
- \* 実施期間だけでなく、日常の生活への定着。

このような課題を解決する方策を今後検討していきたいと考えています。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
福岡市立香椎浜小学校 P T A	西 川 和 通	長 谷 川 弘 明
実施形態	全校 (12 学級) 児童数 376 人	
実施率	実施率 100%	
実施期間	平成 17 年度より実施 (現在も継続中)	
単 P の特色	校区の特徴 (福岡市東区香椎浜校区) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すべて集合住宅である。</li> <li>・ 通学は徒歩 10 分圏内である。</li> <li>・ 信号機がない。</li> <li>・ 校区内に大型ショッピングセンターが平成 16 年冬開業、現在新たな大型マンションが建設中。</li> <li>・ 世帯数 約 2000 世帯 うち児童 276 世帯</li> </ul> 単 P の特徴 子ども一人につき最低 1 回は代表委員 (学年・広報・成人教育・保健地域・選考) をし、それ以外の年度も協力委員 (ベルマーク・パトロール・運動会片付け等) としていずれかの委員会に所属して、できる範囲の協力をする「全員委員制」を実施し、多くの活動を行っています。	

## 1 事業のねらい

近年子ども達の生活リズムが乱れ、学力の低下が大きな問題となっています。それを解決するには、基本的な生活習慣の改善が必要と考え、香椎浜三大運動をスタートさせました。

- 「あいさつ運動」……あいさつをしよう。あいさつで心を通わせましょう。
- 「早寝早起き朝ごはん運動」……早寝早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べましょう。
- 「8 時だよ全員登校運動」……8 時にはお家を出て、学校へ行きましょう。そうすれば、遅刻をしません。

## 2 実施経過

平成 17 年度 各家庭に三大運動のポスターを掲示用に各家庭に配布しました。

総会、運営委員会、P T A 新聞等ことあるごとに、三大運動の実施を呼びかけをしました。

### ☆ あいさつ運動の取組

毎週月曜日 P T A を中心に 8 : 00 ~ 8 : 30 正門にてあいさつ運動の実施しました。学期初めに、学年ごとに日時を設定したあいさつ運動の予定表を配布し、保護者に参加の呼びかけをしました。

毎週水曜日 校区老人会を中心に 8 : 00 ~ 8 : 30 正門にてあいさつ運動を実施しました。

毎月第一火曜日 中学校ブロックにて「あいさつ運動」を実施しました。6 年生児童が中学校正門にてあいさつ運動を実施しました。

### ☆ 早寝早起き朝ごはん運動の取組

平成 18 年 2 月 保護者を対象に「家庭における食のあり方について」講演会を実施しました。

講師：福岡市こども未来課の職員 (管理栄養士)

平成 19 年 7 月 朝ごはんに関するアンケートを実施しました。

- 内容
1. 朝ごはんを食べているか
  2. 朝ごはんの内容 (主食、汁物等)



### 3. 各家庭の自慢の朝ごはんレシピ

平成 19 年 9 月 給食試食会を実施しました。

- 内容
1. 学校栄養職員の先生から「食事バランスガイド」使用し、食事をバランス良く食べる事を学びました。
  2. 子ども達と同様の給食を試食しました。

平成 19 年 11 月 7 月の朝ごはんアンケート結果を集計し、朝ごはんレシピ集を配布しました。

平成 19 年 12 月 朝ごはん試食会と講演会を実施しました。

- 内容
1. 朝ごはんレシピ集の中から 3 品を家庭科室で親子で調理し、試食を実施しました。
  2. 保護者を対象に「子どもの成長と食生活」講演会を実施しました。

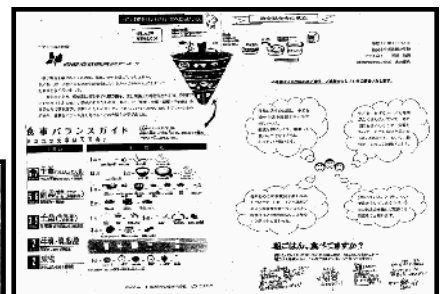
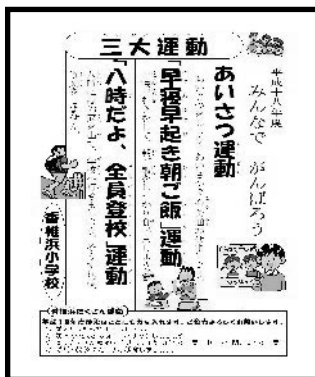
講師：福岡女子大学 人間環境学部 早渕 仁美 教授

### 3 具体的な事業の実際

三大運動掲示用ポスター

あいさつ運動

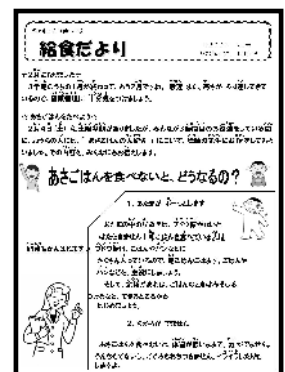
保健地域委員会だより



朝ごはん試食会

講演会 講師：早渕教授

給食だより



### 4 成果と課題

《成果》○「コミュニケーションの始まりは、あいさつから」の意識が高まりました。

○遅刻をする子ども達が格段に減少しました。

○朝ごはんの大切さを理解した保護者が増えました。（朝ごはんを食べる子どもの割合 90%以上）

○午前中の集中力が上がりました。

○学校側も食育への意識が高まりました。（平成 17 年度より栄養職員を配置し、給食だよりや給食室横の掲示板で食育についても啓発が多くなりました。）

《課題》○保護者への啓発はできるが、各家庭の環境が異なるので、どこまで各家庭に入り込めるかが課題であり、保護者の意識改革が必要であると思っています。

## 4 アンケート結果と分析

—福岡県PTA連合会調査—

### (1) 事前アンケート (子ども対象)

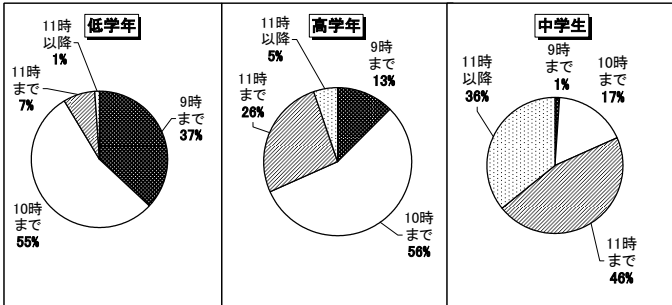
#### ① アンケート結果

事前アンケート調査 平成18年6月実施  
 小学校・・・83校(回答 77校)  
 中学校・・・26校(回答 26校) 合計:109校(回答 103校 28,484人)・・・回答率:95%  
 (※参加校の姫島小・中単Pは小・中別々にデータを集計した為、109校になっております)

児童・生徒対象  
事前アンケート

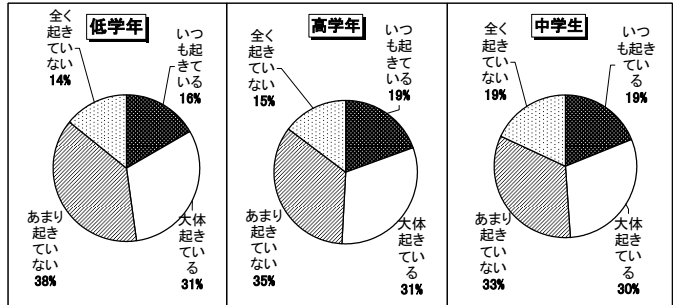
#### 設問1

あなたのお子様はいつも何時頃寝ていますか



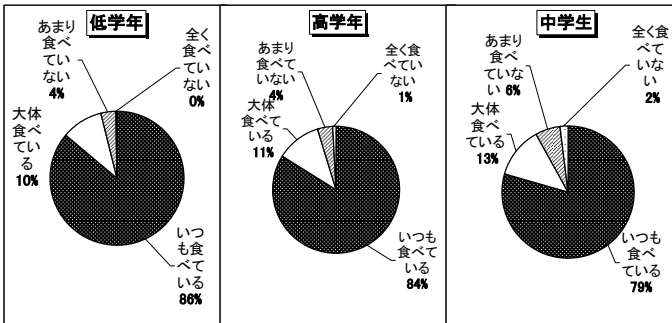
#### 設問2

あなたのお子様はいつも自分で起きていますか



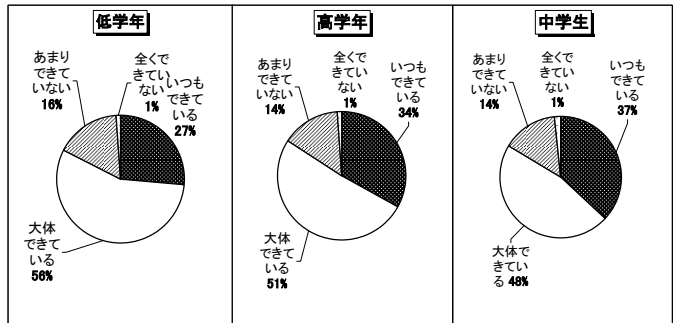
#### 設問3

あなたのお子様はいつも朝ごはんを食べていますか



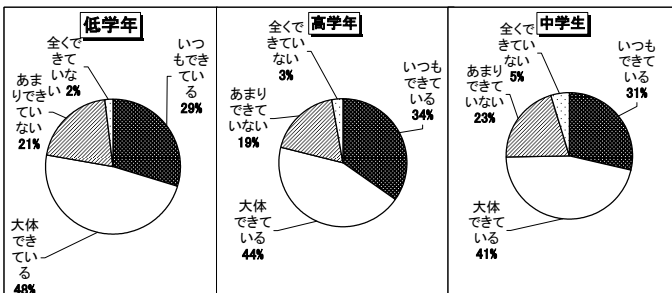
#### 設問4

あなたのお子様は身じたくや後かたづけなど自分の事は自分でできていますか



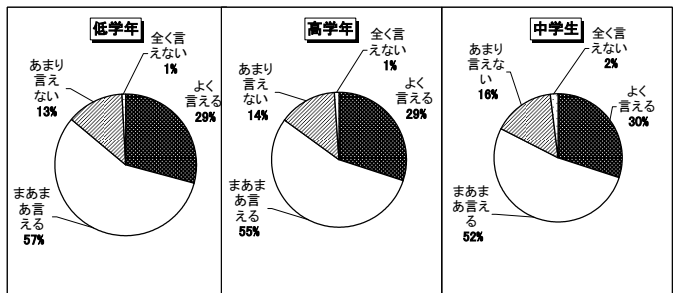
#### 設問5

あなたのお子様は朝のあいさつが自分からできていますか



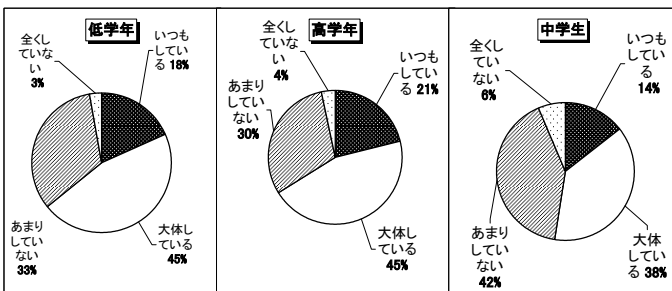
#### 設問6

あなたのお子様は素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えていますか



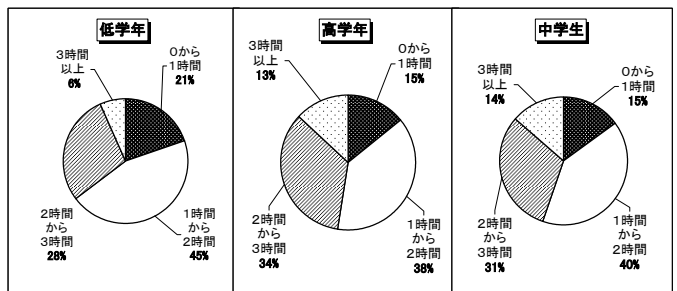
#### 設問7

あなたのお子様は家のお手伝いをしていますか



#### 設問8

あなたのお子様は一日にテレビをどれくらい見ますか



## ② 事前アンケート集計結果の分析

**【設問1】** あなたのお子様は、いつも何時頃寝ていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 小学校低学年、高学年、中学生になるに従って、就寝時間は遅くなる。

【小学校低学年】

- ・ 小学校低学年は、92%の子どもが10時までに就寝している。  
(小学1年生－94%、2年生－92%、3年生－88%)

【小学校高学年】

- ・ 小学校低学年と比較すると、少しずつ寝る時間が遅くなっている。  
10時までに寝る子どもの割合は、69%である。  
(小学4年生－78%、5年生－72%、3年生－55%)

【中学生】

- ・ だんだんと就寝時間が遅くなり、10時までに寝る子どもの割合は、18%と大きく減少する。  
(中学1年生－22%、2年生－13%、3年生－7%)  
中学生の11時以降に寝る子どもの割合は、1年ごとに大きく増加している。

**【設問2】** あなたのお子様は、いつも自分で起きていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 低学年から中学生の約半数近い子どもたちは、概ね、自分で起きることができる一方で、年齢が進んでも、自分で起きられる子どもたちは、増加していないことがわかる。  
また、全く自分で起きられない子どもたちは、低学年14%・高学年15%・中学生19%と逆に増加している。

【小学校低学年】

- ・ いつも自分で起きられる割合は16%で、小学校低学年は、15～20%の子どもが自分で起きられる状況といえる。  
(小学1年生－15%、2年生－15%、3年生－19%)

【小学校高学年】

- ・ いつも自分で起きられる割合は19%で、小学校高学年は、概ね20%の子どもが自分で起きられる状況といえる。  
(小学4年生－18%、2年生－20%、6年生－20%)

【中学生】

- ・ いつも自分で起きられる割合は19%で、中学生は、概ね20%の子どもが自分で起きられる状況といえる。  
(中学1年生－18%、中学2年生－19%、中学3年生－21%)

**【設問3】** あなたのお子様は、いつも朝ご飯を食べていますか。

〔全体的傾向〕

※ 朝ごはんは生活の基礎となるべきものであるので、「いつも食べている」というところを基準にして考察を行った。

- ・ 毎日朝ごはんを食べる子どもの数が、小1から中3まで、学年を重ねる毎に減少している。  
中1は5人に1人、中3は4人に1人が毎朝食べることができていない。小1においても、10人に1人が食べていない状況である。1つの教室の中に、朝ごはんを食べていない子どもが4～10人もいることになる。
- ・ 「あまり食べていない」「まったく食べていない」子どもたちも小1から中3にかけて確実に増え続けている。

**【設問4】** あなたのお子様は、身じたくや後かたづけなど自分のことは自分でできますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 小学校低学年、高学年、中学生になるに従って、いつも自分でできている割合が増えている。特に中3は43%の子どもが自分でいつもしている。
- ・ 全学年とも、80%以上の子どもが、いつも・だいたい自分のことは自分でできている。
- ・ 全学年とも、1～2%の子どもが、自分のことは自分で全くできていない。あまりできていない子どもを含めると、全学年とも13～19%にものぼる。この子どもたちに対する手立てが必要であると考えられる。

**【設問5】** あなたのお子様は、朝のあいさつが自分からできていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 小学校低学年、高学年、中学生においてほぼ朝のあいさつが自分からできている。

【小学校低学年】

- ・ 小学校低学年は、77%の子どもが朝のあいさつを自分からしている。あいさつの習慣が、概ね身に付いているといえる。  
(小学1年生－78%、2年生－76%、3年生－78%)

【小学校高学年】

- ・ 小学校高学年では、78%の児童が朝のあいさつが自分からできている。概ね、あいさつの習慣が身に付いているといえる。また、低学年に比べ1%増加している。  
(小学4年生－78%、5年生－80%、3年生－78%)

【中学生】

- ・ 小学生と比較すると多少減少するが、72%の生徒があいさつが自分からできている。  
(中学1年生－73%、2年生－71%、3年生－71%)

**【設問6】** あなたのお子様は、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ すべての学年で「ありがとう」「ごめんなさい」が「よく」「まあまあ」言える児童生徒が80%を越え、福岡県の小・中学生は、概ね素直な心が育っているといえることができる。
- ・ 素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を「よく」「まあまあ」言える児童生徒の割合が、「低学年87%」、「高学年84%」、「中学生82%」と成長するにつれて、わずかではあるが下がっている。

【小学校低学年】

- ・ 小学校低学年は、87%の児童が素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えている。素直な心が概ね身に付いているといえる。  
(小学1年生－87%、小学2年生－84%、小学3年生－85%)

【小学校高学年】

- ・ 小学校高学年は、84%の児童が素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えている。素直な心が概ね身に付いているといえる。  
(小学4年生－84%、小学5年生－86%、小学6年生－85%)

【中学生】

- ・ 中学生は、82%の生徒が素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えている。素直な心が概ね身に付いているといえる。
- ・ 学年が進むにつれて、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言える生徒の割合が増加している。  
(中学1年生－81%、中学2年生－82%、中学3年生－83%)

**【設問7】** あなたのお子様は、家のお手伝いをしていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 「いつもしている」「だいたいしている」を合わせると、60%を超える子どもたちが日常的になんらかの家のお手伝いをしていることになる。
- ・ 「全くしていない」子どもについては、どの学年においても4%前後であり、大きな変化は見られない。

【小学校高学年】

- ・ 特に小学校4年生は、70%を超えており、発達段階に応じてお手伝いの意識も高まってきていることが考えられる。  
(小学4年生－72%、5年生－65%、6年生－66%)  
\*数値は、「いつもしている」「だいたいしている」をあわせた数。

【中学生】

- ・ 中学生になった段階（中1）で10%以上お手伝いを日常的に行う子どもが減少している。生活リズムが大きく変化していることが考えられる。  
(小学6年生66%→中学1年生51%)  
\*数値は、「いつもしている」「だいたいしている」をあわせた数。

**【設問 8】**

あなたのお子様は、1日にテレビをどのくらい見ますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 「2時間以内」は低学年66%、高学年53%、中学生55%で、「3時間以上」は低学年6%、高学年13%、中学生14%と、小学校高学年からテレビの視聴時間が増えることが分かる。
- ・ 4割以上の小・中学生が2時間以上テレビを見ている。これに、ゲームやパソコンをしている実態を考えると、メディアづけの生活と言える。

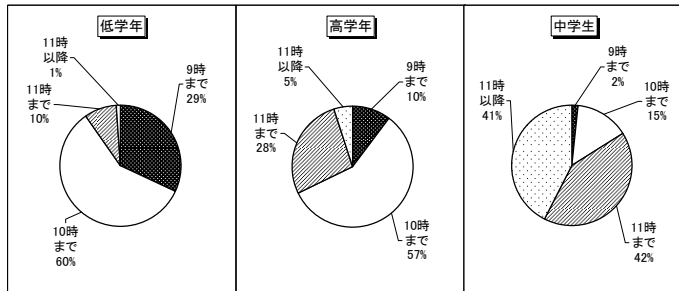
## (2) 事後アンケート（子ども対象）

### ① アンケート結果

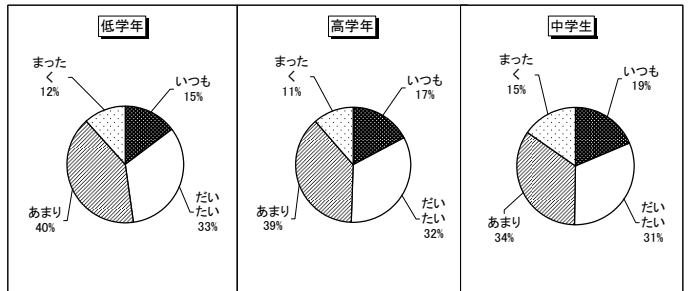
事後アンケート調査 平成18年10月実施  
 小学校・・・83校(回答 67校)  
 中学校・・・26校(回答 19校) 合計:109校(回答 86校 19,885人)・・・回答率: 68 %  
 (※参加校の姫島小・中単Pは小・中別々にデータを集計した為、109校になっております)

# 児童・生徒対象 事後アンケート

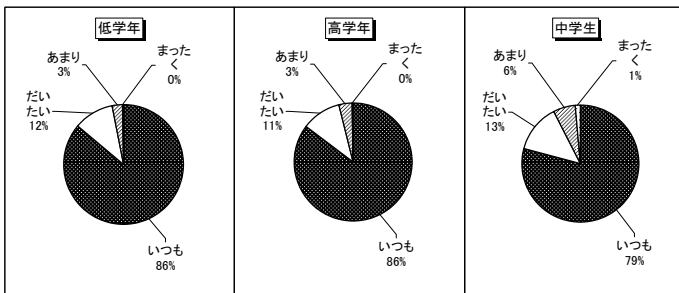
#### 設問1 あなたのお子様はいつも何時頃寝ていますか



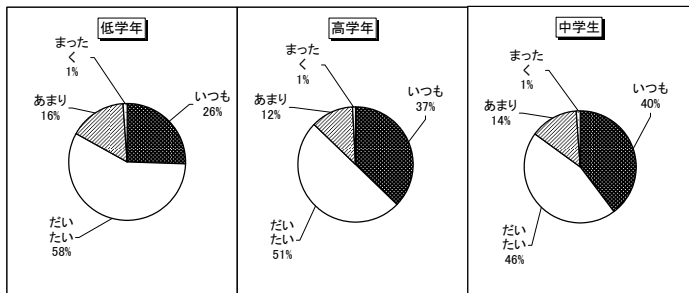
#### 設問2 あなたのお子様はいつも自分で起きていますか



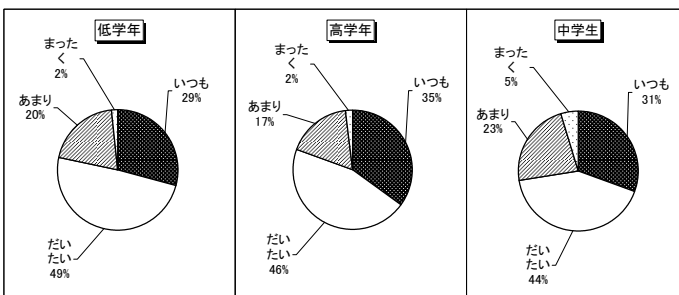
#### 設問3 あなたのお子様はいつも朝ごはんを食べていますか



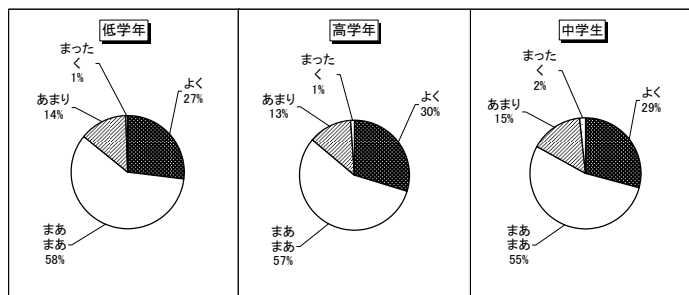
#### 設問4 あなたのお子様は身じたくや後かたづけなど自分の事は自分でできていますか



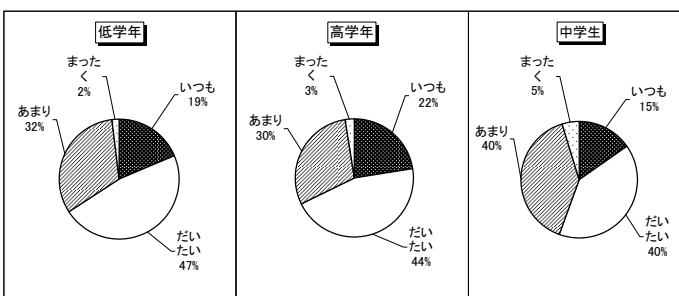
#### 設問5 あなたのお子様は朝のあいさつが自分からできていますか



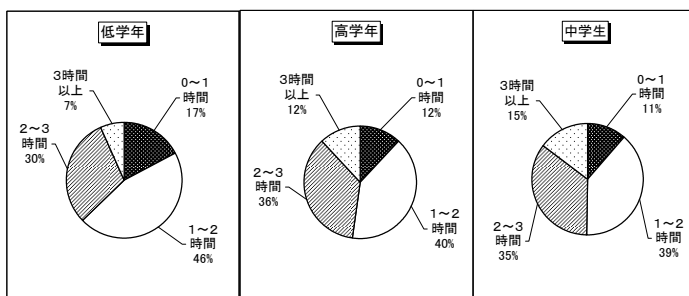
#### 設問6 あなたのお子様は素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えていますか



#### 設問7 あなたのお子様は家のお手伝いをしていますか



#### 設問8 あなたのお子様は一日にテレビをどれくらい見ますか



## ② 事後アンケート集計結果の分析

**【設問1】** あなたのお子様は、いつも何時頃寝ていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 事前、事後と比べると、小学校低学年、高学年に大きな差はみられないが、中学生になると、11時以降に寝る子どもの割合が減少している。

【小学校低学年】

- ・ 事前では、10時までに寝ている子どもの割合が92%であったが、事後では、89%となっている。

【小学校高学年】

- ・ 事後では、小学校低学年と比較すると、少しずつ寝る時間が遅くなっている。  
事前では、10時までに寝る子どもの割合は69%であったが、事後では、67%となっている。

【中学生】

- ・ 事前では、10時までに寝る子どもは18%であったが、事後では17%になっている。  
11時までに寝る子どもの割合をみると、事前では46%、事後では59%となっている。  
中学生の11時以降に寝る子どもの割合は、事前と事後と比べると減少している。

**【設問2】** あなたのお子様は、いつも自分で起きていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ いつも起きている、大体起きている割合の事前と事後の変化を見ると、低学年では47%から48%、高学年では50%から49%、中学生では49%から50%で、ほとんど変化は見られないように見える。  
しかし、まったく起きられないの部分に注目すると、低学年では14%から12%、高学年では5%から11%、中学生では19%から15%となっており、まったく自分から起きられなかった子どもたちが自分で起きようとする意識に大きな変化が見えることがわかる。

**【設問3】** あなたのお子様は、いつも朝ご飯を食べていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 各学年において、新家庭教育宣言取り組み後の結果によい傾向が見られる。  
その中でも小学校高学年においては、朝食を食べない子どもの数の減少が顕著である。（あまり食べない、まったく食べない子どもが2%減少）次に小学校低学年、中学生という順である。



**【設問4】** あなたのお子様は、身じたくや後かたづけなど自分のことは自分でできますか。

〔全体的傾向〕

- ・ どの学年も8割以上の子どもたちが自分でできている。（「いつもできている」、「だいたいできている」を含めて）
- ・ 高学年、中学生は「いつもできている」が3%上がっており、この項目については、自分自身のことを意識するこの時期に取組の効果が期待できる。
- ・ 「まったくできていない」子どもがどの学年も1%いるが、事前事後ともあまり変化がないために、この子どもたちに対する手立てが必要だと考えられる。
- ・ 学年があがる（低学年→高学年→中学生）につれて、いつも自分でできている割合が増えており、事前調査も同じ傾向である。

**【設問5】** あなたのお子様は、あなたのお子様は朝のあいさつが自分からできていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 回答の80%近い子どもたちが、朝のあいさつが自分からできている。（「いつもしている」「だいたいしている」の割合が、低学年78%、高学年が81%、中学生が75%）  
また、あいさつができていない割合についてもほぼ同じ割合である。（「あまりできない」「まったくできない」の割合が、低学年22%、高学年が19%、中学生が28%）
- ・ 朝のあいさつについては、学年があがるにつれて、できている割合が減少している。
- ・ 中学生は、他の学年に比べると、朝のあいさつができる割合が若干低くなっている。
- ・ 新家庭教育宣言を実施する前と後では、若干（1～3%）ではあるが宣言後の方が自分からあいさつができる割合が増えている。

**【設問6】** あなたのお子様は、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を「よく」「まあまあ」言える児童生徒の割合については、どの学年もほとんど変化が見られない。

【小学校低学年】

- ・ 小学校低学年では、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を「よく言える・まあまあ言える」児童が1%減少し、悪化している。
- ・ 「よく言える・まあまあ言える児童の割合」は、小学1年生87%から87%、小学2年生84%から84%、小学3年生85%から86%となっており、3年生だけ増加している。

【小学校高学年】

- ・ 小学校低学年では、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を「よく言える・まあまあ言える」児童が1%増加し、好転している。
- ・ 「よく言える・まあまあ言える児童の割合」は、小学4年生84%から86%、小学5年生86%から87%、小学6年生85%から85%となっており、4年生と5年生が増加している。

【中学生】

- ・ 中学生では、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を「よく言える・まあまあ言える」生徒が1%増加し、好転している。
- ・ 「よく言える・まあまあ言える児童の割合」は、中学1年生81%から83%、中学2年生82%から80%、中学3年生83%から86%となっており、中学1年生と中学3年生が増加している。中でも中学3年生は、3ポイントの大幅な増加となっている。

【設問7】

あなたのお子様は、家のお手伝いをしていますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 中学生と小学校低学年で2～3%であるが、お手伝いをする傾向がわずかながら向上している。ただし、小学校高学年は、「いつもしている」「だいたいしている」をあわせた数値が中学生や小学校低学年よりも高い。
- ・ 「全くしていない」子どもについてが、どの学年においても1%近く減少している。

【小学校低学年】

- ・ 特に小学校1年生は、「だいたいしている」が4%近く増えたことは、大きな成果と考える。

【小学校高学年】

- ・ 5年生では、「あまりしていない」が4%減少し、「いつも」「だいたい」がそれぞれ2%ずつ向上した。

【中学生】

- ・ 特に中学生3年生で、大きな変化が見られた。「いつもしている」「だいたいしている」をあわせて6%も増えた。

【設問8】

あなたのお子様は、1日にテレビをどのくらい見ますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 低学年、高学年、中学生すべてにおいて、テレビを見る時間が増えた。  
「0～1時間」の割合がいずれも減って、低学年では3%、高学年では1%、中学生では4%のそれぞれマイナスである。逆に、どの学年も「2～3時間見る」が増えている。

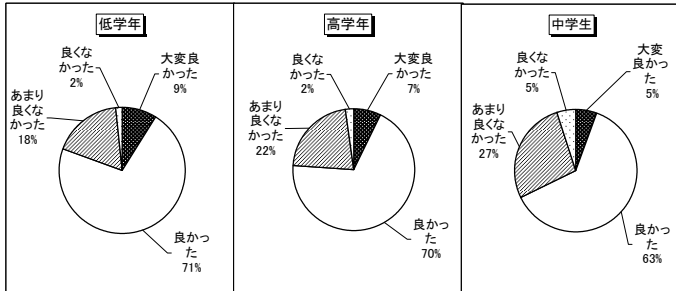
(3) 事後アンケート（保護者対象）

## ① アンケート結果

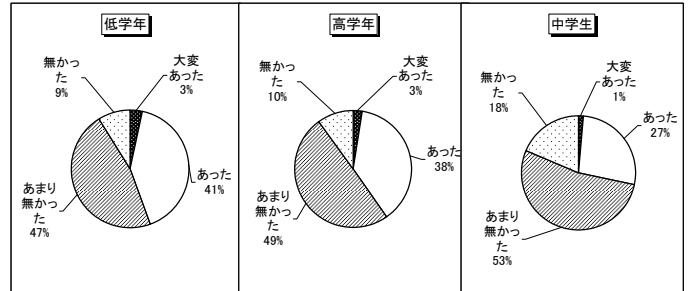
保護者事後アンケート調査 平成18年12月7日現在  
 小学校・・・83校(回答 66校)  
 中学校・・・26校(回答 19校) 合計:109校(回答 85校 17,462人)・・・回答率: 59 %  
 (※参加校の児童小・中単Pは小・中別々にデータを集計した為、109校になっております)



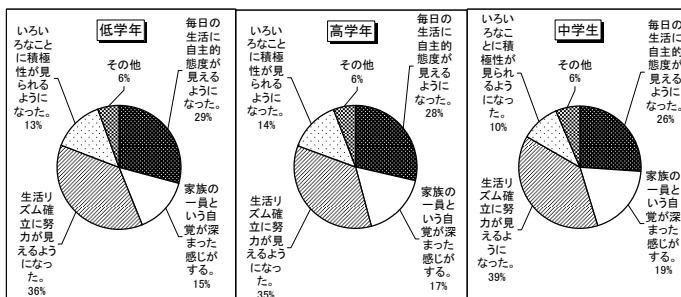
(設問1:新家庭教育宣言をしてよかったと思いますか。)



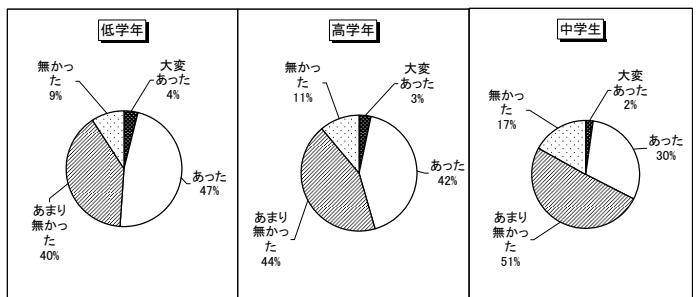
(設問2:新家庭教育宣言をして、子どもに何か変化がありましたか。)



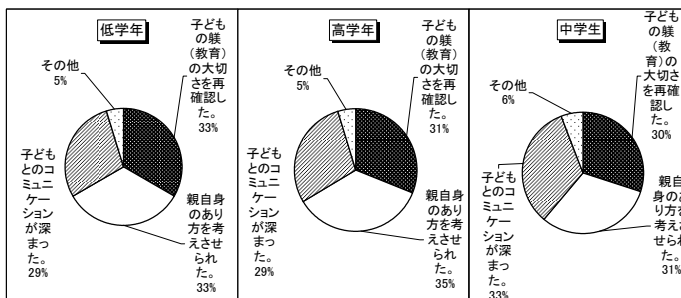
(設問3:問2でア・イと答えられた方は、その内容はどんなことですか。【複数回答可】)



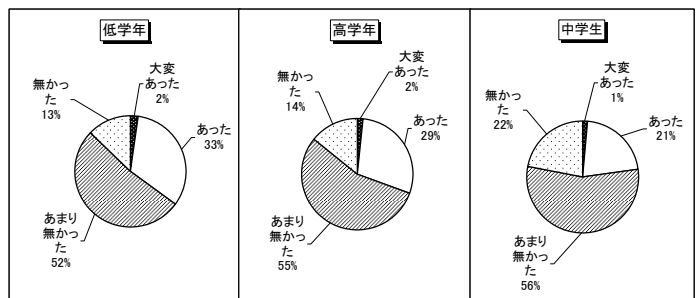
(設問4: “新”家庭教育宣言をして、あなたに何か変化がありましたか。)



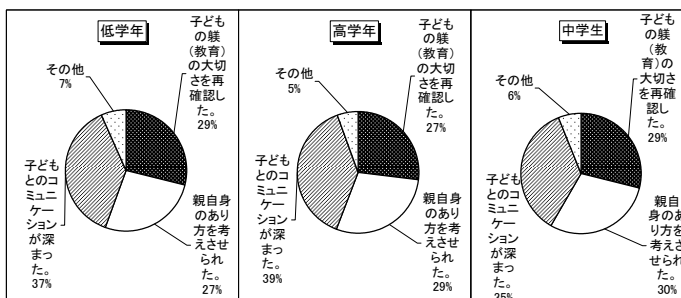
(設問5:問4でア・イと回答された方は、その内容はどんなことですか。【複数回答可】)



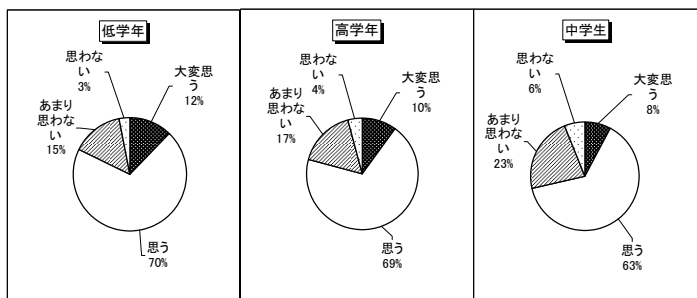
(設問6:“新”家庭教育宣言をして、家族に何か変化がありましたか。)



(設問7: 問6でア・イと答えられた方は、その内容はどんなことですか。【複数回答可】)



(設問8:“新”家庭教育宣言で実行したことを今後も続けようと思いますか。)



## ② 保護者の取組の評価に対するアンケート集計結果の分析

**【設問1】** 新家庭教育宣言をして良かったと思いますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 低学年では、「大変良かった」「良かった」と答えた保護者の割合は小学校低学年では80%、高学年では77%、中学生では68%である。  
子どもの年齢があがるにつれて、新家庭教育宣言事業の効果が低くなっていることがわかる。

**【設問2】** 新家庭教育宣言をして、子どもに変化がありましたか。

〔全体的傾向〕

- ・ 新家庭教育宣言後、親から見た子どもの変化が「大変あった」「あった」の割合が、低学年が44%、高学年が41%、中学生が28%であり、特色として、家庭での新家庭教育宣言事業の取り組みは、低学年であればあるだけ、子どもの基本的生活習慣を定着させることに効果があることが考えられる。  
言い換えれば、学年が進むにつれて、子どもの基本的生活習慣を定着させることが難しいといえる。

**【設問3】** 問2でア・イと答えられた方は、その内容はどんなことですか。

〔全体的傾向〕

- ・ アンケート結果には、学年別や地域別における有意な差は見られない。
- ・ 各学年とも、子どもに変化があったと考えている保護者のうち、40%近くは「生活リズム確立に努力が見えるようになった」と感じている。
- ・ 各学年とも、子どもに変化があったと考えている保護者のうち、30%近くは「毎日の生活に自主的態度が見えるようになった」と感じている。
- ・ 上記3点のことから考えると、新家庭教育宣言事業に取り組むことで、子どもに「自らの生活を改善していこうとする姿勢」が表れることを期待できる。

**【設問4】** 新家庭教育宣言をして、あなたに何か変化がありましたか。

〔全体的傾向〕

- ・ 低学年51%、高学年45%、中学生32%の親が、子どもに変化があったと答えており、低学年の親ほど、この事業による自分自身の変化を感じている。
- ・ 中学生の親で変化を感じていないと答える親は68%もあり、思春期を迎える子どもに向き合う親の対応の難しさを示しているのではないか。

**【設問5】** 問4でア・イと答えられた方は、その内容はどんなことですか。

〔全体的傾向〕

- ・ 低学年と高学年の親では、「子どもの躾の大切さ」や「親自身のあり方を考えさせられた」と答えた割合が多かった。
- ・ 中学生では、「子どもとのコミュニケーションが深まった」という割合が多く、新家庭教育宣言事業を实践することにより、子どもとの関わりを増やすことができたと思われる。
- ・ 親子で宣言項目を設定して取り組むことにより、子どもについての理解を深め、親子のコミュニケーションを図ることができたことがわかる。また、日頃の親自身のあり方について振り返ることができ、新家庭教育宣言を実施することで家庭教育の大切さが理解できたと考えられる。

**【設問6】** 新家庭教育宣言をして、家族に何か変化がありましたか。

〔全体的傾向〕

- ・ 新家庭教育宣言をして、家族に変化が「大変あった」「あった」という割合が低学年35%、高学年31%、中学生22%と学年が上がるにつれて減少している。
- ・ 新家庭教育宣言をして、家族に何か変化があった割合は、2～3割程度であり変化が見られなかったと言える。

**【設問7】** 問6でア・イと答えられた方は、その内容はどんなことですか。

〔全体的傾向〕

- ・ 「子どもとのコミュニケーションが深まった」と答えた割合が、最も多かった。子どもとの会話やふれあいは、家庭教育において最も大切な基盤である。親子で目標に向かってともに取り組むことによって、家族のコミュニケーションが深まり、家庭教育の大切さを再認識する機会となっている。

**【設問8】** 新家庭教育宣言で実行したことを今後も続けようと思いますか。

〔全体的傾向〕

- ・ 低学年の保護者ほど「思う」割合が高い。低学年では「大変思う」「思う」を合わせて82%、同じく高学年では79%、中学生では72%である。  
しかし、中学生の保護者でも72%が実行したいと思っているというから、取り組みの内容がよく、成果が多かったといえる。

## 5 成果と課題

- 子どもの生活リズムの向上という目標を持ち、実践活動に取り組むことは、家庭の教育力を向上させるために有効であることが明らかになりました。
  - ・「家庭教育の重要性を再確認した。」など親自身の意識の変容が大きい。
  - ・親子の取り組みが、家族のコミュニケーションの機会を増やすことにつながった。
- 県内で 138 校、40,000 人の児童生徒が実践活動に取り組むことにより、県民運動としての広がりがみられ始めました。
- 学校が学力向上と関連づけ、P T Aと連携して基本的生活習慣の育成を図る取り組みを進めるようになってきました。
- 市内すべての学校で実践活動に取り組むなど、市町村教育委員会の意識が高まってきています。
- 各学校の実態に応じた取り組みを行い、アンケート調査を行ったため、子どもの実態の変容を、十分に読み取ることができなかったため、今後「共通実践目標」として「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組む、その結果を検証していきたいと考えています。

## 子どもの生活リズムの定着を図るための6つの提言

～アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業からみえてきたもの～

### 学 校

#### 《 提言 1 》

- 生活リズムの大切さを教科・領域で子どもに教えましょう  
(学校から子どもへ)
- ・ 教育指導計画の中に位置づけよう
- ・ 発達段階に応じた指導内容、方法を工夫しよう

#### 《 提言 2 》

- 学校は家庭教育支援ができる場であることを認識しましょう  
(学校から親へ)
- ・ すべての親に支援できる場は学校しかないことを認識しよう
- ・ 生活リズムの大切さを積極的に家庭へ伝えよう
- ・ 学習の場として施設を提供しましょう

### 家 庭

#### 《 提言 3 》

- 家庭教育宣言で取り組むことは、子どもの生活リズムを整えるチャンスだととらえよう
- ・ 親子で約束を決めて取り組む
- ・ 低学年ほど生活リズムを定着するのが効果的であることを認識する
- ・ 発達段階に応じて宣言の内容を決める

#### 《 提言 4 》

- 家庭教育宣言を親子のコミュニケーションのきっかけにしよう
- ・ 親子でよく話し合って約束ごとを決める
- ・ できたときには子どもをほめる

### 教育委員会

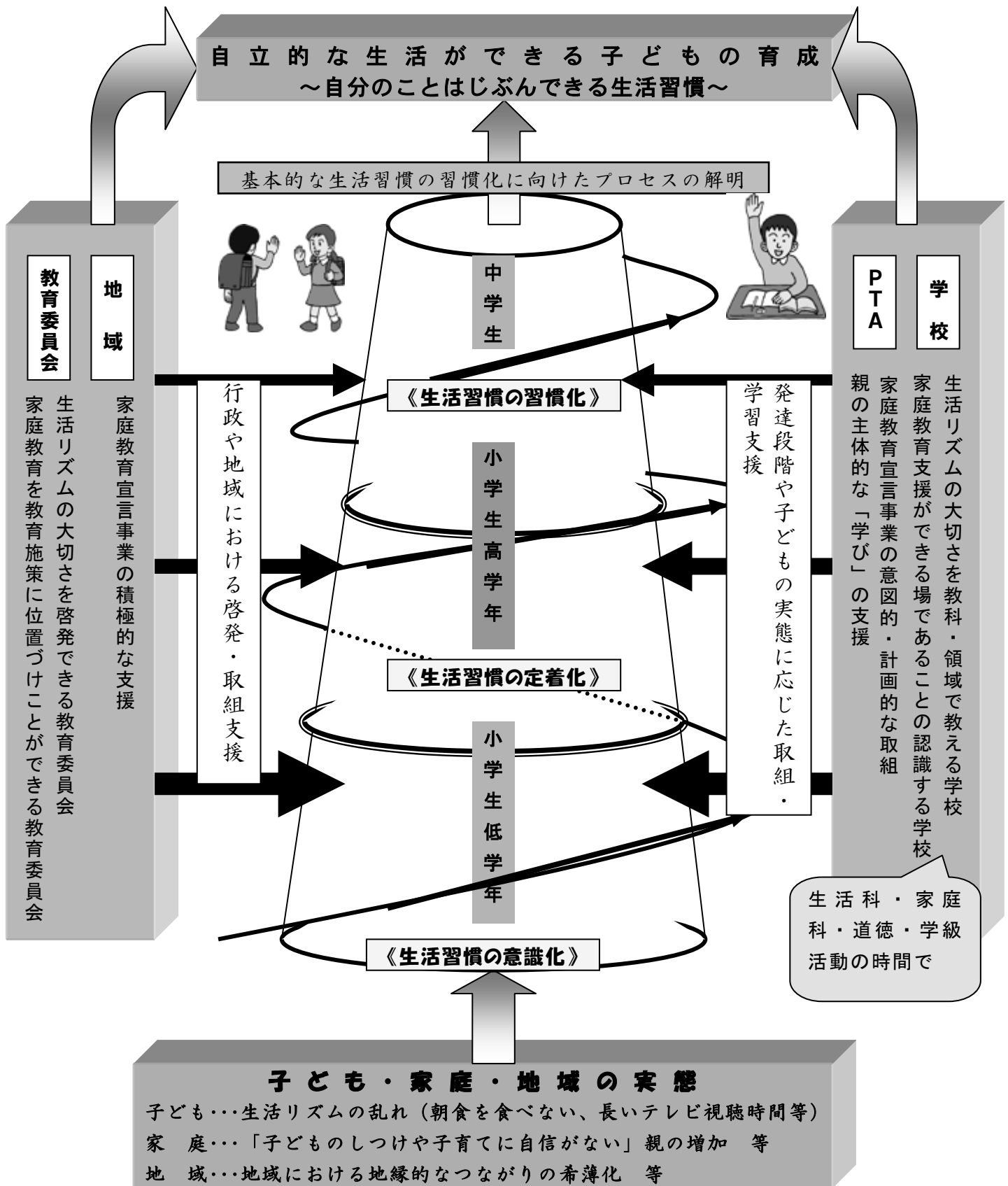
#### 《 提言 5 》

- 教育委員会は住民へ生活リズムの大切さを啓発しよう
- ・ 生活リズムに関する研修会を開催する。
- ・ 生活リズムに関する啓発資料を作成する

#### 《 提言 6 》

- 教育委員会は、家庭教育を教育施策に位置づけよう
- ・ 生活リズムを身につける事業を実施する（通学合宿、長期キャンプなど）
- ・ 家庭教育宣言実施校の実状を把握する
- ・ 家庭教育宣言実施校での実施の効果を知らせる

子どもの生活リズム向上へ向けた全体構想図





# 平成18年度アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業実施校一覧

市町村名	学校名
宗像市	大島小学校 自由ヶ丘南小学校 自由ヶ丘中学校
古賀市	青柳小学校 花見小学校 千鳥小学校 小野小学校
久山町	久原小学校
新宮町	新宮東小学校
須恵町	須恵第一小学校
粕屋町	粕屋西小学校 粕屋中央小学校 粕屋東中学校
春日市	天神山小学校 須玖小学校 春日原小学校 太谷小学校 日の出小学校
太宰府市	太宰府小学校 国分小学校 水城小学校 太宰府南小学校 吉木小学校
那珂川町	岩戸北小学校 那珂川南中学校
前原市	波多江小学校 東風小学校 前原小学校 前原南小学校 南風小学校 前原中学校 可也小学校 姫島小・中学校
志摩町	
中間市	中間南小学校 中間小学校 中間北中学校
直方市	下境小学校
小竹町	小竹南小学校 小竹西小学校
鞍手町	西川小学校
芦屋町	山鹿小学校 芦屋小学校 芦屋東小学校 芦屋中学校

市町村名	学校名
朝倉市	秋月小学校 秋月中学校 十文字中学校 杷木中学校
筑前町	中牟田小学校
うきは市	大石小学校 吉井小学校
小郡市	三国小学校 のそみが丘小学校 三国中学校
大刀洗町	大堰小学校
久留米市	竹野小学校 柴刈小学校
大牟田市	三池小学校 倉永小学校 駿馬北小学校 玉川小学校 田隈中学校 松原中学校 宮前小学校 三又小学校 大川小学校
柳川市	柳南中学校
大木町	大溝小学校
星野村	星野中学校
筑後市	羽犬塚小学校
田川市	大浦小学校 後藤寺小学校 猪位金小学校 船尾小学校 大藪小学校 伊田小学校 田川小学校 弓削田小学校 金川小学校 鎮西小学校 後藤寺中学校 弓削田中学校 田川中学校 猪位金中学校 鎮西中学校 伊田中学校 金川中学校 中央中学校
飯塚市	二瀬中学校 飯塚第一中学校
嘉麻市	下山田小学校
川崎町	川崎東小学校
添田町	添田小学校

市町村名	学校名
荏田町	白川小学校 片島小学校
みやこ町	諫山小学校 祓郷小学校 上高屋小学校 柳瀬小学校 犀川小学校
行橋市	延永小学校
築上町	西角田小学校 葛城小学校
上毛町	西友枝小学校 南吉富小学校
吉富町	吉富小学校 吉富中学校
豊前市	八屋小学校
福岡市	長尾小学校 三宅小学校 百道小学校 今宿小学校 能古中学校 中央養護学校 今津養護学校 香椎浜小学校 花畑小学校 弥永西小学校 鶴田小学校 城南区中P連 内浜中学校 北崎中学校 柏原中学校
北九州市	萩が丘小学校 足原小学校 三郎丸小学校 富野中学校 湯川小学校 朽網小学校 横代小学校 吉田中学校 守恒中学校 高須小学校 高須中学校 花尾小学校 花尾中学校 筒井小学校 萩原小学校